

昭和二十四年三月十九日 昭和廿四年十一月廿五日印刷 (毎月一日發行)
第三種郵便物認可 昭和廿四年十二月一日發行

第三〇輯 第三號・昭和二十四年十二月

建築(社會)

12

日本建築協會

THE ARCHITECTURAL ASSOCIATION OF JAPAN

廣島ガスビル竣工記念

施 工



株式
會社

大 林 組

本店 大阪市東區京橋3丁目75
電話 東 ㊤ 861番
廣島
支店 廣島市平田町7
電話中 ㊤ 2215・2216番

大工工事

田 川 組

廣島市平野町736

田 川 保 知

左官工事

和洋左官工事

タイル煉瓦工事

請 負

藤 原 組

藤 原 増 平

廣島市南千田町1062

電話中 ㊤ 0610番

塗装工事

ペンキ塗と

看板装飾

株式
會社

柴田總兵衛商店

廣島市研屋町85

電話中 ㊤ 0966番

内外装 タイル衛生

タ イ ル 陶器附屬金物

株式
會社

平田タイル廣島營業所

本店 京都市下京區大宮通
電話 壬生 ㊤ 1448・2017番

廣島市比治山町50
電話中 ㊤ 4365番

テラソー
工 事

大 理 石

テラソー

其 他 石 材

株式
會社

三洋石材工業所

廣島市北横町338

水道衛生
給排水工事

若山工業株式會社

廣島市幟町28

電話中 ㊤ 1718・3106番

家具裝飾
工 事

家具室内

裝 飾

設 計・施 工



株式
會社

高 島 屋

中國出張所

廣島市中町3
電話中 ㊤ 1361番

本店 大阪市南區難波
電話南 ㊤ 1518番

電氣工事

中國電氣工事株式會社

廣島營業所

廣島市研屋町4
電話中 ㊤ 2512番

本店 廣島市立町53
電話中 ㊤ 2510・2511番

造園工事

有限
會社

己 斐 植 木

廣島市己斐町東中町308

電話西 ㊤ 0357番



建築と社会

12

1949・12

時の言葉 新教育制度による建築教育	2
新建築作品紹介	
ナイトクラブシスコ	3
広島ガスビル	7
大阪警視廳第二別館	10
學制改革と建築學科	白石博三 12
學制改革と建築學科	上林博雄 16
所感	中村 眞 19

新制作派協會建築部設置について	小磯良平 20
會員作品集	22
オーストラリアに於ける住宅管理組織について	28
非戰災感謝記念塔設計反對聲明	30
建築積算便覧(7回)	31
會務	35
會告	綴込

時の言葉

新教育制度による建築教育

六・三・三・四・（小學校—中學校—高校—大學）なる新教育制は既に實施されているが、これ等の卒業生が社會に出るのは中學校が昭和24年3月から、高校が25年3月、大學は28年3月からとなつてゐる。ところでこの學校教育組織の如何なる段階に於いて建築教育が行はれるかという、中學校では農、工、商、家庭などの全般について僅かな職業指導が行はれ、高校では工業高等學校の三ヶ年で、大學の工學部では後半の二ヶ年の間で行はれるのである。

従つて、以前の制度に比べると時間數的にみて、高校は工業學校の約80%、大學で70%位位となるであろう。これでは確かに技術的の修練に於いて以前程度に達することは困難かも知れない。

さて内容の問題であるが、こゝていう高校は中堅の實際的な建築技術者を養成し、大學は技術の指導的地位に立つものゝ養成が目的とされている。してみると工業高等學校の建築技術教育はどうも不足する感がある。そうかといつて、この年限を延ばすことは新制度教育の根本的な體形をくずすことになつて来る。こゝに於いて將來に残された問題は大きな意味で二つになりはしないか。

即ち、中學を卒業して直ちに就職する70~80%の者に如何に育てゝ職能人とするか、及び大學に進み得ない約80%の高校卒業生にもつと確りとした技術的基礎を與えるには如何にすべきか。

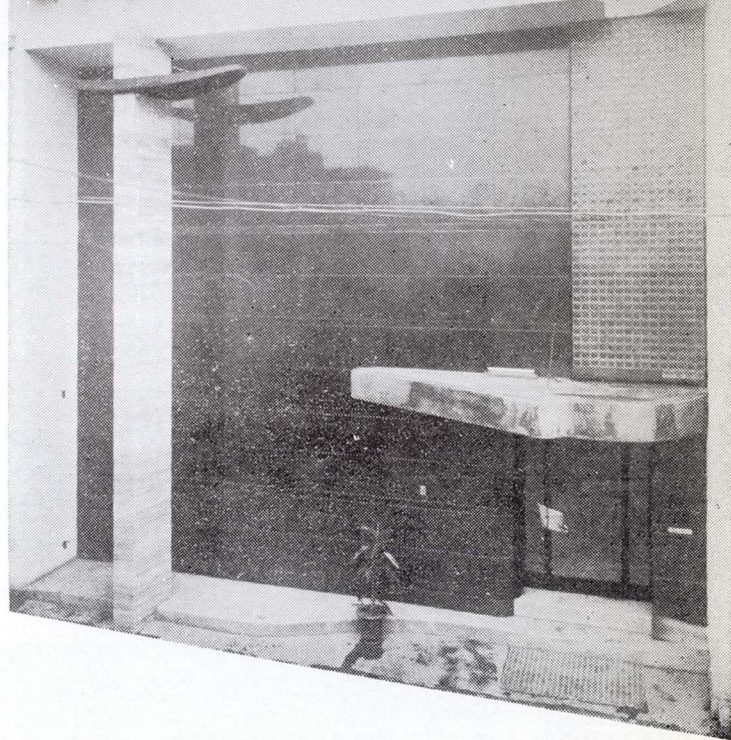
何れの場合も、これ等の卒業生を就職先の職場で補充教育が出来れば問題はないが、これも現下の工業界では望み得ないかも知れぬ。とすれば結局は學校體形のまゝで、中學、高校の卒業生に對し就職準備的に短期の技術教育を施さなければなるまい。

この目的のために中學卒業生が約六ヶ月—一年程度の養成機關に收容し得るようにし、高校卒業生には短期の専門大學（二ヶ年程度）に設けることが考えられてよいと思う。

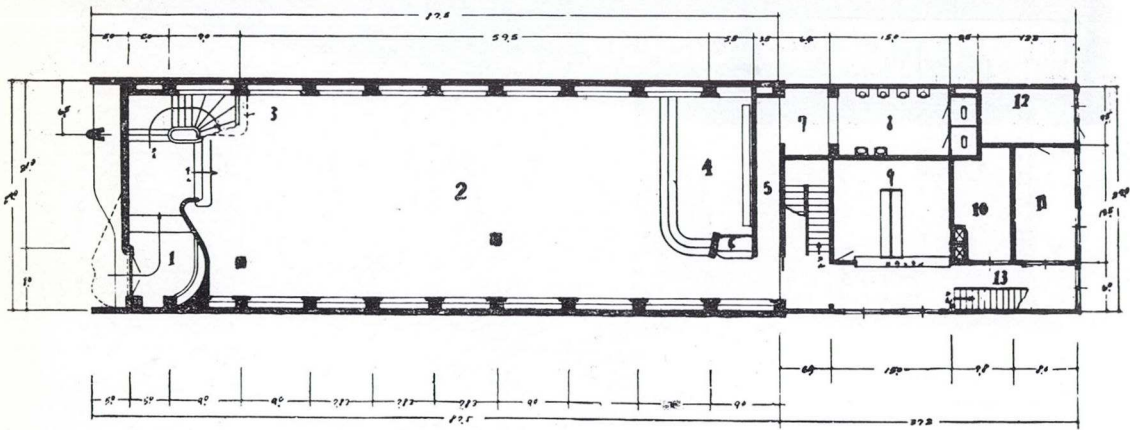
併しこゝに最も注意すべき事は、新教育制度に於いては單に技術とか職業とかの狭い量見て人間を律するのでなく、全人間的に正しい教育の在り方を如何にすべきかが取り上げられている事である。従つて我々の望むところは、斯くの如き基本の上に立つて、更に建築技術的な能力の補充を行いたい事である。

NIGHT CLUB CISCO

CISCO



場 所	大阪市南區心齋橋筋二丁目十八番地	
設 計	中 村 眞	
施 工	安 部 建 設 株 式 會 社	
建 築 面 積	1 階	9 4 ・ 3 6 坪
	2 階	9 4 ・ 3 6 坪



一 階 平 面 圖

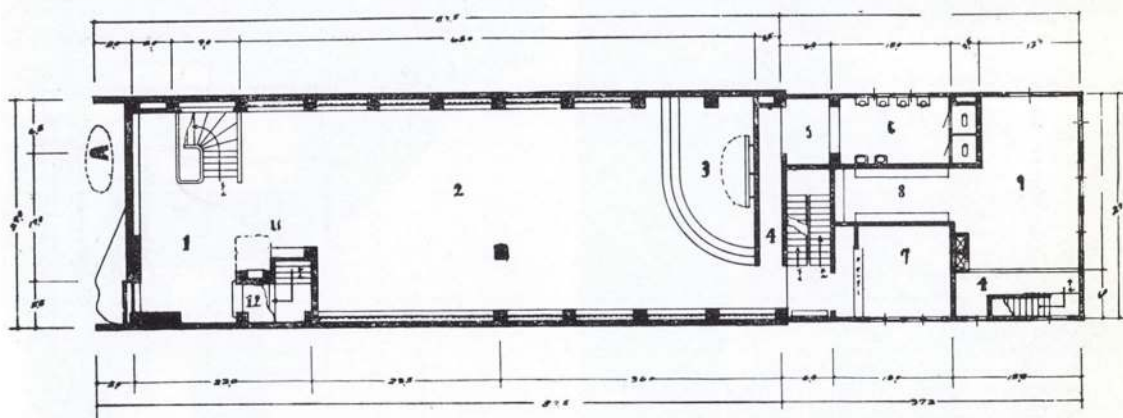
- | | | | |
|----|---|---|---|
| 1 | 玄 | | 關 |
| 2 | 客 | | 室 |
| 3 | ス | ポ | ト |
| 4 | ス | テ | ヂ |
| 5 | 廊 | | 下 |
| 6 | テ | ケ | ッ |
| 7 | 化 | 粧 | 室 |
| 8 | 便 | | 所 |
| 9 | 厨 | | 房 |
| 10 | 倉 | | 庫 |
| 11 | 事 | 務 | 室 |
| 12 | 電 | 氣 | 室 |
| 13 | 通 | | 路 |
| 14 | カ | ウ | ン |

仕 上 概 要

外部正面大壁黒御影石張り、横目地ハ眞鍮目地金入レ、玄関入口スチールシャッター、上部小壁及袖壁寒水石入り白セメントモルタル掻落シ仕上、獨立柱ドイツラバーチン張り上部舟型ハ電飾皿デアル。

内部玄関ホール廻り床テラゾー、壁大理石張り、天井プラスター一階各室及ステージ廻り床、フローリング及寄木張り、桂型、プラスターペン





二階平面圖

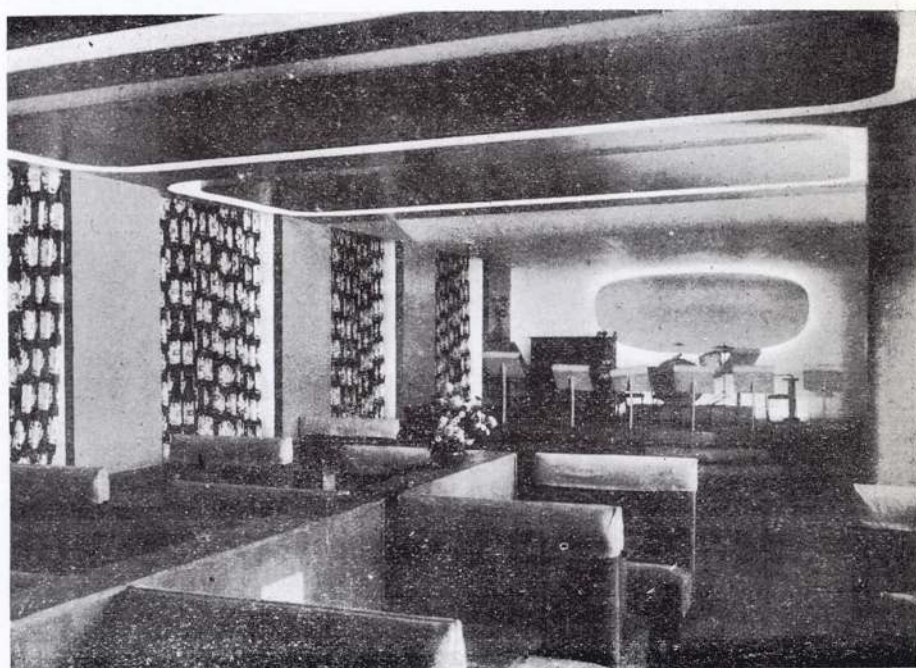
- | | |
|----|-------|
| 1 | 二階ホール |
| 2 | 客室 |
| 3 | ステージー |
| 4 | 廊下 |
| 5 | 化粧室 |
| 6 | 便所 |
| 7 | 厨房 |
| 8 | ロツカ室 |
| 9 | 社交係室 |
| 10 | テケツ |
| 11 | スボツト |

キ塗り、壁面柱間パネル部分ハ波型石膏型引き仕上げトシ、ネオン間接照明三段切換トス。天井ハメタルラス張りプラスター仕上げ、黒色ラツカー吹付け仕上げトス。

二階客席床ハフローリング及寄木張り、壁ハプラスター仕上げペンキ塗り。

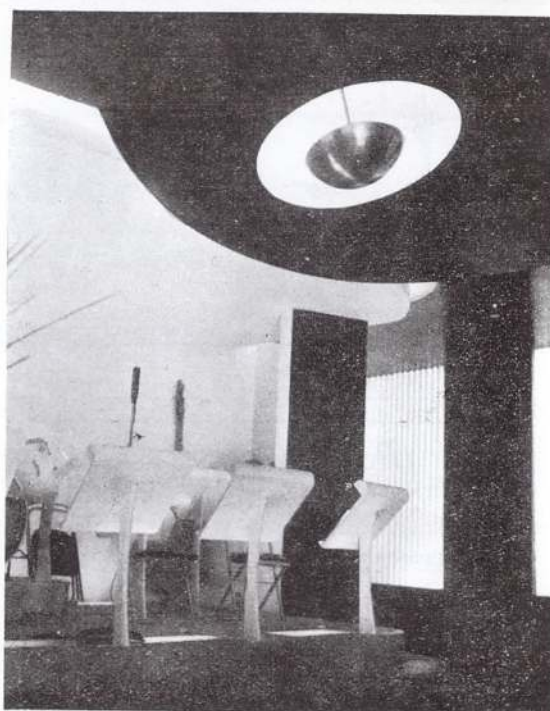
一、二階便所床ハ大理石張り、天井プラスター塗り、間接照明トス。

電気照明設備近畿電気工事株式会社





階 段



ステージ

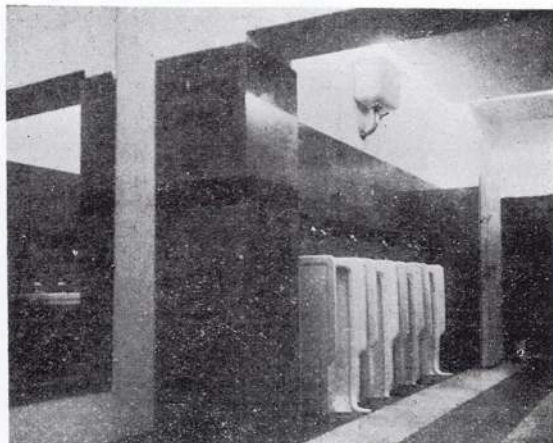


本建物は元心齋橋キャバレー大和屋なりしものを今回ナイトクラブ、シスコに改造したるもので、主體は鐵筋コンクリート造三階建、附屬屋木造二階建にして一、二階のみ改造なし、三階は在來通りにて、ナイトクラブには使用せず。

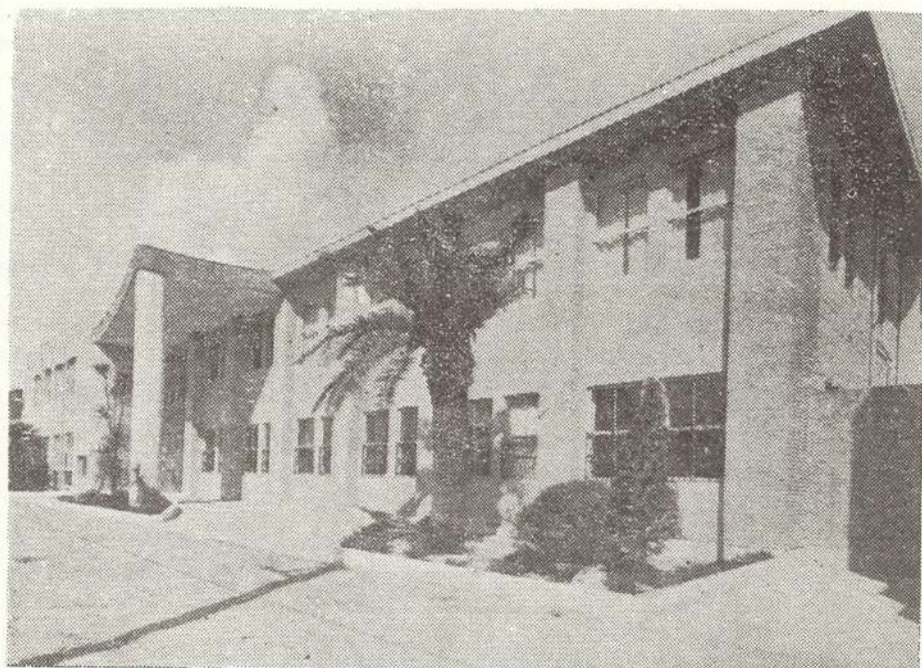
二階ホール



便 所



廣島カスビル



所 設	在 計	廣 島 市 基 町 1 番 地
		廣 島 瓦 斯 株 式 會 社 技 師 片 口 時 男
		曉 建 築 事 務 所 建 築 士 村 田 正
現 場 擔 當		廣 島 瓦 斯 株 式 會 社 營 繕 課 片 口 時 男 小 林 邦 雄
施 工		株 式 會 社 大 林 組
着 工		昭 和 24 年 1 月 12 日
竣 工		昭 和 24 年 9 月 30 日
敷 地 面 積		4 5 0 坪
建 築 面 積		1 階 296・5 坪 2 階 283 坪 合 計 579・5 坪
床		ホ ー ル 階 下 廊 下 テ ラ ズ ブ ロ ッ ク 眞 鍮 目 地 切 仕 上
		2 階 役 員 室、應 接 室、リ ノ リ ユ ム 貼 其 他 檜 縁 甲 板
壁		外 壁 前 面 ス ク ラ ツ チ タ イ ル 貼 背 面 リ シ ン 仕 上 玄 關 正 面 黒 花 崗 貼 り
		底 田 柱 腰 廻 り 双 葉 石 積 内 部 ホ ー ル テ ラ ズ ブ ロ ッ ク 貼 役 員 室、應 接 室
		壁 紙 貼 其 他 白 色 漆 喰 仕 上
屋 根		庇 及 書 庫 鐵 筋 コ ン ク リ ー ト、フ ラ ッ ト ル ー フ 小 屋 木 造 洋 式 ト ラ ス 赤 色 フ
		レ ン チ 瓦 葺 勾 配 4 寸 5 分

設計者のことば

當ビルは最初の計畫では鐵筋コンクリート五階建とする豫定で設計に着手したのでありますが、當時の客觀狀勢がそれを許さず、木造二階建に変更されたものであります。

敷地は原爆に依り灰燼と化した元軍用地で都市計畫による40米電車路に面し、電車、廣島驛行、已斐驛行字品行の分岐點に位し、廣島市のビジネスセンターを豫定されている所であります。

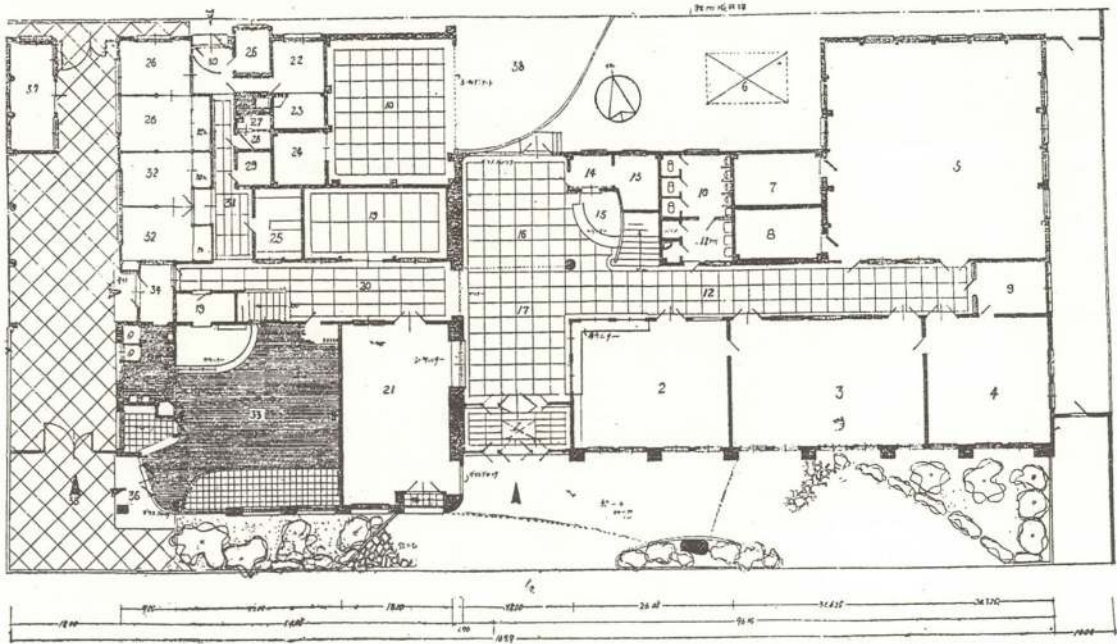
木造とは云え、アトム・ヒロシマ復興のさきがけとして建築する建物でありますので、出來得る限り耐震耐火の面を考査し書庫、便所、階段廻り、防火壁庫等

中央主要部分を鐵筋コンクリートとし左右に木造を配した構造にして、大梁は總て鐵骨架構、正面大庇はスパン14米の鐵骨鐵筋コンクリートとなつています。

設計及施工に際しては附帶工事は勿論、細部にわたるまで一應建築家のアイデアで統一することに苦心致しました。その爲圖面はスケッチを加えると現場で約150枚位書きました。

竣工して見て未だ物足りない箇所が多くありますが一應工事關係者一同の御協力を得て、私の思通りのものが出來た事を喜んでゐます。皆様御批判を仰ぎます。

1949・9・29 (片口時男)



一階平面圖

1 玄
2 資
3 勞
4 重
5 經
6 分
7 書
8 金
9 應
10 便
11 洗
12 職
13 豫

材務
炭株役事離
務式
務務
關室室室室槽庫庫室所下室

14 湯
15 受
16 口
17 水
18 車
19 倉
20 サ
21 營
22 電
23 休
24 物
25 口
26 小

沸
付
案
一
ス
廊
給
換
室
庫
下
室
室
置
室
室

27 浴
23 脫
29 炊
30 裏
31 廊
32 宿
33 喫
34 側
35 職
36 働
37 ボ
38 ス

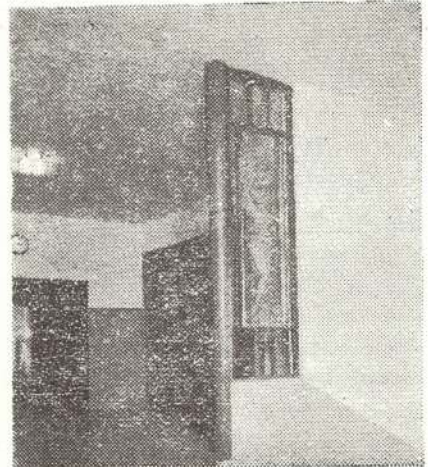
事
直
茶
玄
出
一
休
入
憩
一

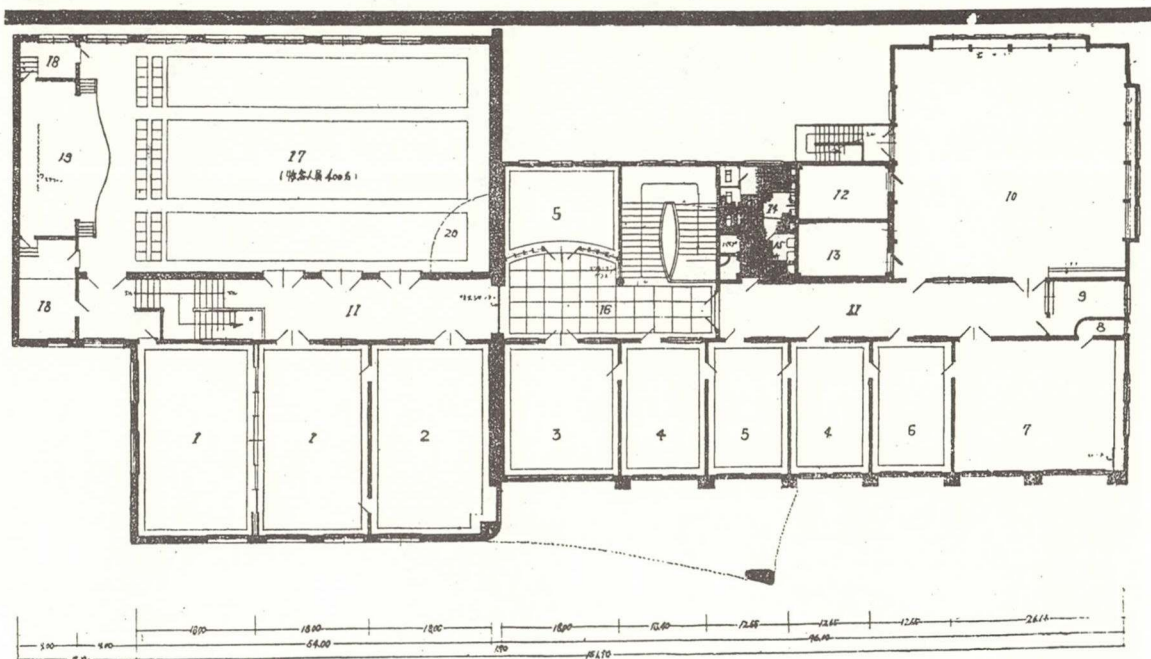
室
衣
室
關
下
室
室
關
口
子
室
プ

一階ホール



二階ホール



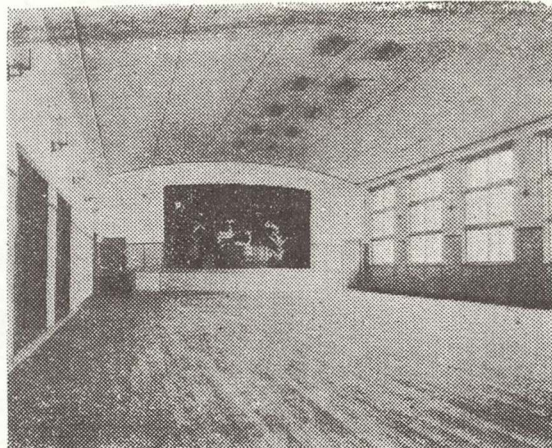
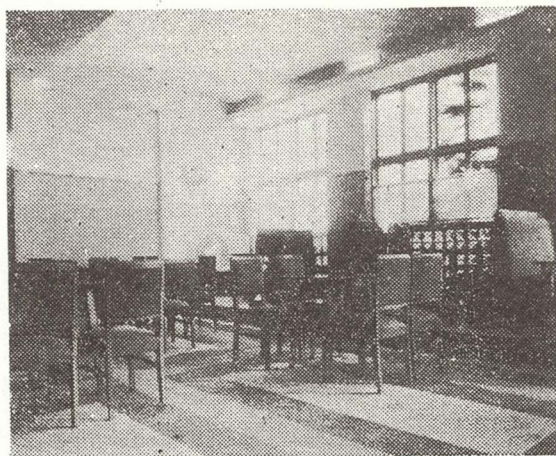


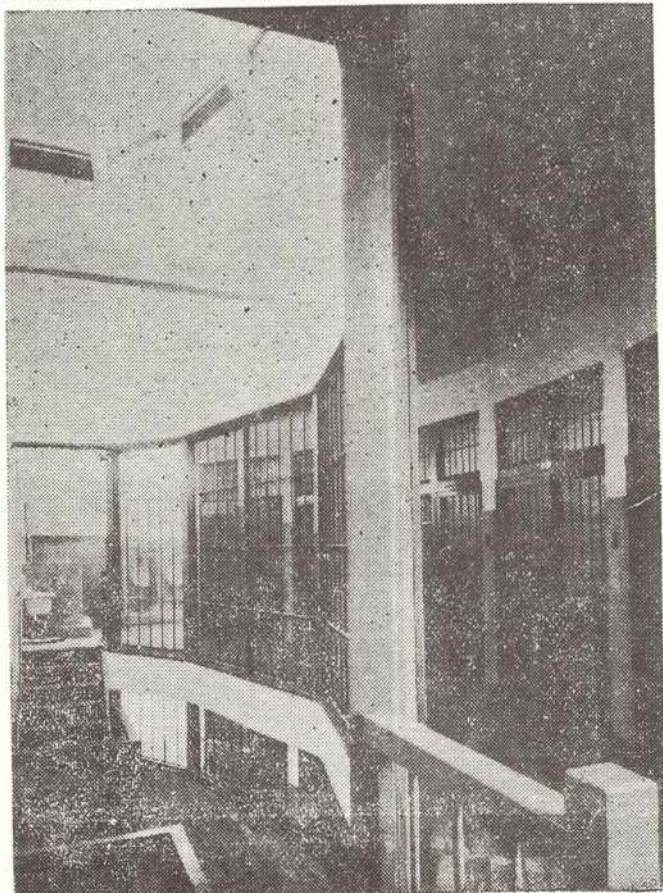
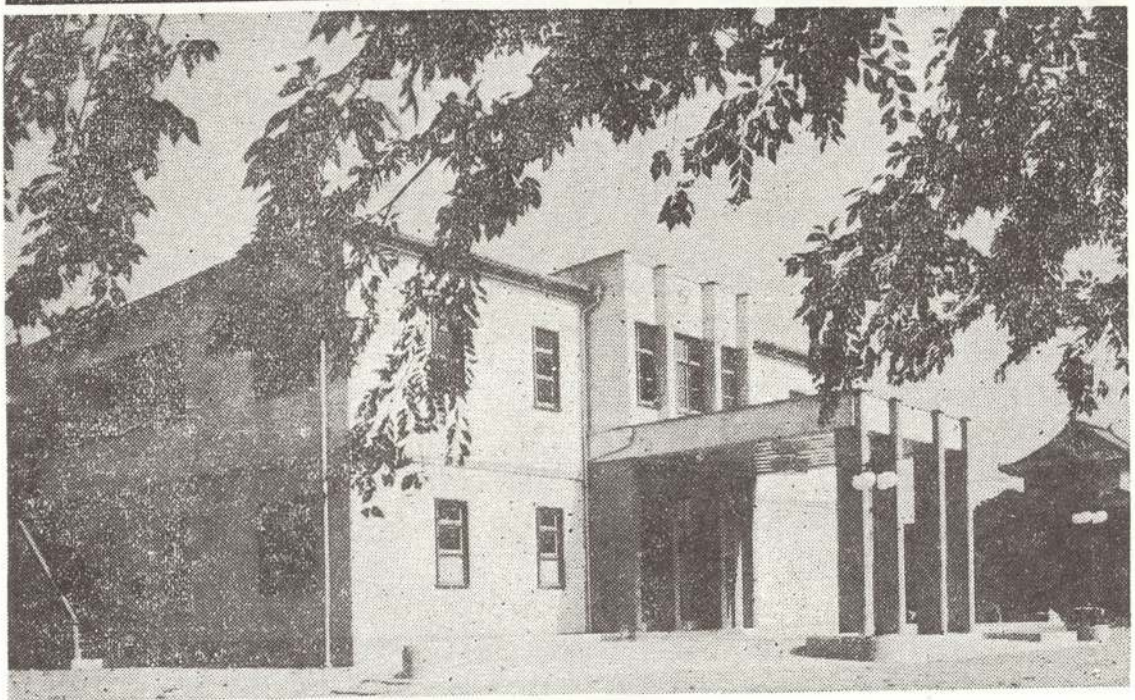
二階平面圖

- | | | | | |
|------|---|---|------|---|
| 1 會 | 議 | 室 | 11 廊 | 下 |
| 2 席 | 務 | 室 | 12 保 | 庫 |
| 3 事 | 務 | 室 | 13 圖 | 庫 |
| 4 役 | 務 | 室 | 14 便 | 所 |
| 5 應 | 員 | 室 | 15 洗 | 所 |
| 6 社 | 接 | 室 | 16 階 | 上 |
| 7 社 | 應 | 室 | 17 講 | 堂 |
| 8 電 | 長 | 室 | 18 控 | 室 |
| 9 湯 | 話 | 室 | 19 ス | デ |
| 10 設 | 沸 | 室 | 20 映 | 室 |
| | 計 | | | |

一階ゲリル

講 堂





大阪警視廳
第二別館

學 制 改 革 と 建 築 學 科

白 石 博 三

日本民主化の根本策として、敗戦後直ちに採り上げられた學制改革の全貌は、漸く今日に至つてはば明かにされた。そのうち新制の小學校、中學校、高等學校及び大學は既に實施され、短期大學及び大學院は近く設置されるであらう。私はこの學制改革の渦中に置かれた一員としての経験から特に新學制に於ける建築學科について、些か解説と意見を述べたいと思う。

新學制による専門教育は高等學校から始る。即ち學校教育法は、その第35條に中學校は中等普通教育を施すことを目的とするとして居り、高等學校に至つて初めて第41條により、高等普通教育を主とする學校と専門教育を主とする學校の區別を設けている。建築學科はここで初めて姿を現わすのである。

その教科内容は學習指導要領によつて示されている。建築科について見れば、3年間を通じて、實習84單位、關係教科（建築専門科目及び數學、物理、化學等）37單位、普通教科（國語、社會、體育）23單位が必修とされ、別に土木、機械、電氣或は普通教科を含む選擇教科が8單位以上23單位設けられている。但し1單位とは毎週1時間、1年間（35週）の授業である。

次に新制大學は、學校教育法第52條により、いわゆる「學の淵奥を究める」ことを大學院に譲り、職業教育的使命を明かにして居る。その代り、從來の大學或いは専門學校と異なる大きな特色は、教養科目が著しく重んぜられていることである。大學の教科内容は大學基準によつて定められているのであるが、それは次の通りである。

先ず大學に於けるすべての科目は教養科目と専門科目に分たれる。教養科目については、理科系の大學では次に示す3つの系列に亘つて夫々3科目以上合計12科目以上の授業を必ず用意しなければなら

ばならない。

人文科學關係 哲學、倫理學、心理學、社會學、宗教學、教育學、歷史學、人文地理學、人類學、文學、外國語
社會科學關係 法學、政治學、經濟學、心理學、人類學、教育學、歷史學、社會學、統計、家政學
自然科學關係 數學、統計學、物理學、天文學、化學、地學、生物學、心理學、人類學、天文學、家政學

尙音樂、美術等情操教育に役立つ科目をこれに加えることが希まれて居る。

そして學生は、理科系大學の場合では、以上の3系列に亘つて夫々2科目以上合計9科目以上を履修し合計36單位以上を取得しなければならない。但し外國語科目は必ずそのうちに含んでいなければならない。尙大學に於ける單位は、講義は毎週1時間を以て、數學等の演習は毎週2時間を以て、實驗、實習及び製圖等は毎週3時間を以て15週（半年間）で1單位に計算する。どの科目を何單位とするかは各大學の自由である。

専門科目については、理科系大學の場合には、全科目數も1科目の單位數にも制限はなく、各大學の自由であるが、出来る限り多くの科目を用意して學生に撰擇の自由を與えなければならない。そして學生は卒業論文又は卒業計畫を含め専門科目で84單位以上を取得しなければならないとされている。即ち教養科目と専門科目に於ける最低要求單位數の比は、實に1:2となり如何に大學が教養を重んじて居るかが判るのである。

では新制大學の建築學科はどのような内容をもつか。それは大學基準協會が認める限り各大學の自由なのだから、概説することは困難だが、多くの新制大學では舊大學と大差ない科目を並べている

様である。

短期大學については、最近その基本が明かにされたばかりである。修業年限は2年で高等學校卒業生を入學させる。教科内容はやはり教養科目と専門科目に分かれ、夫々について學生の取得すべき最低要求單位數は1:2の比率になつてゐる。つまり短期大學は高等學校と大學との中間程度なのであるが、特に注意しなければならないことは、短期大學は4年制大學を單に年限を短くし程度を下げたものではなく、その學科の設け方に於て大學に於ける場合より學生の専攻する分野を狭くする様に考えられてゐることである。具體的に例示すれば、單なる土木科や建築科を設けるのではなく、測量學科とか建築設備學科とか家具科等の如くすべきであらう。つまり大學は engineer を、短期大學は foreman を、高等學校は workman を養成するのである。

大學院ではもはや教養學は存しない。大學卒業生が更に進んでその専門の分野に於ける深奥を究めるのである。從來の大學院と相違する點は、新制大學院には一定の課程が設けられ、その修了が認定されることである。

以上が建築學科の存する範圍の新學制の概観であるが、これを舊學制とその程度を比較すればどうであるか。

先ず工業高等學校に於ける建築科は、その程度が舊工業學校より多少向上する位ではなからうか。小學校から工業高等學校卒業迄の年數を通算すれば1年の延長になる。然し建築の専門科目を習得する年數は一應5年から3年に減じたのである。勿論舊工業學校でも入學當初からすぐ専門科目に取りかかることはしなかつた。だから考え合

わせると上の様な結論になるのではないだろうか。そしてこの程度の技術者としては、この制度で支障はないのではなからうか。勿論更に精深な程度を希む場合には専攻科を設けることが可能とされて居る。然しその必要は殆どあるまい。

新制大學卒業生の學力は、その卒業までの年數及び大學の教科内容から云つて、専門科目については舊大學より若干低くなるかも知れない。然し從來専門學校卒業生でも大學卒業生でも餘りに貧弱であつた教養は豊かになり、偏狭な人物は少なくなることが期待される。そしてこの事こそは今度の學制改革の一番大きな結果となるであらう。大學卒業生は社會に於ける指導者となることが期待される人々である。それらの人々は専門家である前に先ず教養人でなければならない。私はこの點の改革には全く賛成する。特に建築設計の如く豊かな教養がなければ不可能と云つてもよい方面では、専門的立場からも向上が見られると思う。

短期大學では、それが上述した趣旨の通りに行はれたならば、從來の日本の教育で等閑視された特殊な専門家の養成に有効な機關になるであらう。警戒しなければならないことは、4年制大學設置が認可されなかつた専門學校等に於て、ただ4年制をそのまま2年に短めた様な短期大學が作られそうな氣配である。それでは餘りに意味が薄い中途半端なものになつてしまう。

新制の大學院はまだ發足していないが、舊大學院に比し大いに擴張される筈である。舊制大學の多くは新大學院を設置し、相當多數の學生を收容することになると思われる。從來は極く少數者しか進まなかつた大學院に今後は相當多數の學生が進學することが期待される。或る人は新制大學の

家のクリーニング

- ★古家屋が新築同様となる 美素工事
- ★新築家屋にお手入のいらぬ美素工事
- ★石・タイル洗淨工事

請負

株式 美素工業所
會社

大阪市東區瓦町(堺筋)三和ビル三階
電話新町⑨5777番

最高級陶器製釉藥掛屋根瓦

フレンチ瓦・スパニツシユ瓦・S型瓦・日本型瓦

東洋洋瓦株式會社

取締役社長 青木友一

大阪市天王寺區大道三丁目一二五
電話天王寺1259番
工場 愛知縣碧海郡高濱町・岡山市旭町

設置を以て日本の教育水準は低下したと云う。然し新制大學が幾分専門的立場からすれば舊制大學より程度が低いとしても、大學院の擴張によつて日本の學術的水準はむしろ進歩する筈であり、又そうしなければならない。

では新制度の運営は満足に行われて居るであろうか。そこには幾多の問題が存して居る。

先ず教育費の不足が擧げられる。各方面に金詰りの聲は高いが、學校程ひどい所は少い様である。理想の實現どころか、最低限度を割つてゐる。戦災校は建物すら仲々復舊しない。非戦災校では設備は大昔のままでしかも半壊れになつてゐるのが多い。更に大學規準に、教授、助教授、助手はその精力と時間を他の職業に割くことなくその家族を支える適當な俸給を與えなければならぬとい書いてある所を読む度に私達は苦笑するより外ない。現状は貧民の生活に甘んずるか、さもなくば内職に努めるかである。

特に大學の建築學科は問題が多い。由來日本の大學の建築科は工學部内にあり同一學生に構造も設計も教育して來た。それにも相當の理由はあるであろうが、諸外國では設計と構造は分離されてゐる。工學部の中にあるのは建築構造科で、設計は工學部から獨立した建築學部になつてゐるところが多い。設計と構造が同じ建築に關することであつても、相當に立場が違ふことは云う迄もあるまい。私は新制大學設置の絶好の機會に、建築學部の獨立は日本では困難であるとしても、せめて構造と設計の分離は實現せねばならぬと思つた。それが實現した大學もある様だが、一般には餘り問題にされなかつたらしいのは残念に思われる。

更に建築學科の性質上、美學、美術史、繪畫實

習、彫塑實習などは相當重んぜられなければならない。從來は外國の例に比較すれば、日本の學校では工學的意識からか軽く見られていた。この點今日も尙改革は残されて居るのではないだろうか。

又建築設計に關しては、丁度繪畫、彫刻、音樂等の如くに作家教授とも云う可き人を迎えなければならない。自ら設計の経験なくして唯他人の作品を批評する學者も必要であらうが、同時に設計の體驗を通じて教授する人がなければならない。その様な建築家を大學は迎へているだろうか。私は今日迄の日本の大學から優秀な建築家の生れることの餘りに少なかつた重要な原因の一つは此所にあると思う。建築設計の教授を任命するのに著書や論文で決めてはならない。建築家はその作品を以て判斷されなければならない。

同時に教授が街頭に進出して實際に建築設計を行うことは獎勵されてこそ然るべきで、非難するのは當らない。これを難する人は、それでは音樂學校の教授に演奏會出演を禁じ、美術學校教授に展覽會出品を禁じ、醫學部教授に臨床を禁すべきだと思つてゐるのであらうか。世間にも、大學内部にも、また設計を擔當する教授自身の中にも、今日尙この點の誤解があるように思われる。

又大學に於ける修業年限は建築設計を専攻する者には不足の様である。設計には天分と共に長い修練が必要である。現在の如く建築に關する豫備知識も経験もない者を入學させるならば、アメリカの多くの例の如く大學は少くとも5年を必要とするであらう。そして更に大學院に於ける2年或は3年の修練が必要である。アメリカでは各州の法律で主任建築家として設計及び施工の責任者と

營業 日本浪型スレート・大平板
品目 日本厚型スレート・小平板

製造販賣並ニ工事請負

日本スレート株式會社大阪工場

東本社 東京都中央区銀座七丁目三番地
營業所 電話銀座(57)三二九七・五二九六
京工場 東京都北区豊島七丁目一六番地
電話王子(81)三一五一番
仙營業所 仙台市中田町恵土一番地
台工場 電話中田一五番

大阪

營業所 大阪市西淀川区千船東二丁目二三番地
東工場 電話淀川⑦ 0888・1869・1908番
西工場 大阪市西淀川区佃町二丁目一五四番地
電話淀川⑦ 1081・1082番

なる者はマスターの稱號をもつ者でなければなら
ないとしているところが多い。歐洲では修業年限
が短い代りに入學前に經驗を要求され、入學試験
に設計競技が課せられる。この點日本では大學專
攻科の制度なり大學院なりが活用されなければなら
ない。

再び一般問題に歸るが、大學の民主化は未だし
の感が深い。舊大學は舊大學なりに、専門學校か
ら昇格したところでは未だに専門學校的に、その
封建的な殻を捨てようとしめない。學校の運営が民
主化されない限り、新學制は手数をかけただけの
事になつてしまう。學長も教授も何故かそれを自
覺しないらしい人が相當多い様に思われる。

教養學輕視の氣持も相當にあるらしい。それで
はやはり新學制は無意味になつてしまうのである。

私は過去1年半程の間、勤務して居る學校の大
學設置問題に殆ど没頭を餘儀なくされたい。幸に
建築設計を目的とする學科を設置し、建築は、建
築構造、建築計畫、建築意匠の4講座の外に、美
學、美術史、工藝學の講座を設け、著名な建築家
として活躍中の人をも迎え、設計のアトリエを2
つ作つて學生はその何れかに屬することとするこ
とが出来た。然し尙なすべき事は多々あり、又云
い度い事も澤山ある。

(筆者・京都工藝纖維大學工藝學部建築工藝科助教授)

ガラスに依る屋根材の新創案

在來、天窗の裝置としては幾多の種類がありましたが
何れも夫々の長所と缺點を持つており、就中、最近著し
き需要を來している、波型スレート屋根の採光に對して
は幾多の缺點が擧げられています。此の度編集部によせ
られた資料により新創案の「波型ガラス」についてお知
らせしましょう。

「光り波型ガラス」は波型スレート屋根瓦屋根に使用
するのみならず、その應用範圍は仲々廣く、溫室、サン
ルーム、その明快美を誇る事が出来ます。

採光面の擴大 平面ガラスに比し、波狀の山に直射し
たる光線の複雑なる屈折により、その採光面の範圍は
著しく擴大されます。

取附の簡易、迅速 在來の如く外枠、棧等を要せず
直接母屋に取付ける爲、極めて簡単に又短時日に多く
の面積を施工し得、工事の敏速を期する事が出来ます

強度の倍加 波狀を形成せる故、平面ガラスも、耐壓
力に於て約8倍以上の強さを有しその完全性を保持す
る事が出来ます。(抗折試験成績249.2kg) 平板硝子
5耗厚に比較し7倍の強度を有す。

雨漏り破損の絶無 施工は釘穴を要せず、「特許」特
種止め金具により取付ける爲、建物の動搖、風壓によ
り破損の危険なく、如何なる豪雨に於ても波狀の谷面
を流下する爲、雨漏の杞憂は絶體にありません。

外觀の優美 屋根面と同形のガラスが等しき波狀をな
して連繋し、光りがそれにあたつて、明快なる反射を

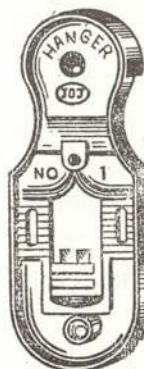
なし明朗優美なる外觀を見る事が出来ます。殊に凹面
の塵埃は雨水と共に一掃される等、幾多特長あるに比
し平面に附屬する塵埃は固まりて凸起し、いつまでも
残る等屢々經驗する所です。

室内の好感覺 波狀により屈折されたる光線は擴散し
柔らかな光りを室内に投げ眩惑を起させる事なく、作
業の能率をはかり健康と衛生的見地よりも好果を齎し
ます。

價格の低廉 構造と、取付の簡易は在來の天窗裝置よ
りも、後日修繕の經費は節約され、經濟的裝置です。

規 格 厚さ約5耗、幅2尺4寸、谷の深さ約4分
山の數11山半、長さ3.3尺

以上の外アプレゲール型の種々な材料も生れて來る事
でしようが、明るい日本の復興を推進する爲には好き
資材と秀れた技術をもつて進もうではありませんか。



建築 J.O.J 金物

ドア J.O.J 印ドアハンガー

工場、倉庫、ガレージの扉に
御使用を御奨め致します
(全國金物店にあり)

代 湯淺金物株式會社
理 大阪・東京
店 岡谷鋼機株式會社
大阪・名古屋・東京

製造元 大同鑄造株式會社
大阪

學制改革と建築學科

上 林 博 雄

今般の學制改革の目的及び精神は、例えば東京大學南原學長、早稻田大學島田總長等の新制大學開校式に於ける式辭によく云い盡されていると思う。茲に私はその一般論について喋々しようとは思はない、それは敗戦國に課せられたものであり既に嚴然たる現實であるから。

然し乍ら新制大學建築學科について云えば、その實際上の運営は我々に身近い新教授會にあり、しかもその教授會は現在形造られつつあるか又は成立したばかりの影響を受け易い状態にあるのであつて、この過渡期を善用すれば却つて新界の爲に幾何かの進歩が得られるであろうことを考えると、此際業界の皆様と共に一學徒が建築學教育について反省し考察し、よりよきものを探求するのは強ち無意義なことではないと思う。

1. 舊學制建築學科に對する回顧

且て舊學制確立の時代に於て大學・専門學校の建築學科のあり方について反省されることは殆んどなかつたと云つて過言ではない。明治以來の傳統的な官僚統制に教育界全體が無感覺になり、改良、革進と云うことを考えることが異端的なことと感じられ、斯くあるものと學制及び學科内容を受取らなければならなかつた。この點新制度の學制が地方分權化されること、又教授會が總ての教育運用の支配權を持つことが法文化（大學法案等）されることは意義あることと云わねばならない。現段階に於ては未だ文部省による學校統制は持續されているが一般の文化水準が低い我國の現状からすれば致し方なく總ては各大學は獨立した自治體となつて講義の内容、従つて年限さえも自由な構想に依つて決せられるであろう。

舊學制に於て大學及び専門學校の建築學教育の間に如何なる相異があつたであろうか。恐らく實

際に社會から要求される卒業生の技術から云えば大した相異はなかつたと考えられる。即ち専門學校に於ては基礎的學科の授業時間數だけ専門學科の授業が少なくなつて居り（約 $\frac{1}{3}$ ～ $\frac{1}{4}$ ）、その爲に三年も長い修業期間の差があるのは少しどうかと思われる。勿論大學のコースが不要であつたと主張するものではない。大學を出た人々には語學や數學や一般基礎科學の高度の知識があり、又充分なる教養を獲得する機會があつた筈である。その結果研究者とか建築家と稱するものは主として大學の門を出た人達であつた。然し乍ら研究者や此處に云う建築家は現状から云えば一般教育の對象とすべきものではなく、又對象とすることは不可能であろう。顧つて大學の卒業生にして各自の職場に於て、その修得された處の高等なる諸知識が實際に活用されているかどうかを考えれば、それ等が多くの場合單なる知識として、もつと惡く云えば看板としてのみの價值しかないことに氣附くだろうと思う。或る人々は此等の高等基礎知識を一般教養と云う立場より尙舊制大學の意義を強調するかも知れない。しかし私はそれに對して次の様に答え度い。

「先輩達の教養は戰爭に巻き込まれるのを防止することが出来なかつたのではないか、且てはキリストの愛を論じトルストイの人間主義を讀めた人達がメーテルリングの『青い鳥』を味讀出来なかつたのではないか」と。尙重要なことは近代社會（國家）に於ては斯る教養本位の人間よりも先づ職能人を創ることが必要であり個人生活の安定、社會の安定と相俟て眞の生活文化・教養があり得ると主張する人々（例えば長谷川如是閑氏等）があり、現にU.S.A.に於ては社會主義社會の自然的分配によりU.S.S.R.に於ては社會主義社會の計畫的割當によつて職能人が育成され

ていると云うことである。

次に建築學科の内容に就いて願う。先づ氣附くことは其の無自覺性である。戦前建築學科と云えば Romantic な Renaissance 以來の建築家らしいものの養成機關の様に感じられる傾向があつた。然るに斯る時代のカテゴリイに於ける意匠と石構造及び現場運営のみの技能を持つていた建築家と云うものは科學・技術の偉大なる進歩及び經濟學的政治學的社會構成の變遷に因つて文明の發達した近代國家に於いては最早存在することは出来なくなつてゐる。斯る無自覺性の故に學課目は甚だ多岐に涉り従つて質的には程度の低いものにならざるを得なかつた。戦時になつて文部省は單に迎合し國家目的達成の手段として學校を規定しその目的を明かにしたのであるが實際には何等改革される處がなかつた。而も當時教授は研究に追われ全人格の接觸をもつて學生を指導することは増々困難となつてゐた。凡そ教授が必ず研究者であると云う原則らしいものは打破されねばならぬ。教授は自分の分野に於る最近の進歩の現象を理解しそれを學生に解り易く説明出来得ればよいのであつて必ずしも自らが其の研究者であらねばならぬと云うのは分を過ぎたことである。現に學會に於て研究發表の或ものは其の儘では學生に理解出来ないのは勿論分野を異にする研究者にも殆ど何等理解されてゐないものである。教授即研究者と云う思想は既に舊世紀的であり現在世界の學界事情とは趣を異にしていると云うことを銘記すべきである。

2. 新制度への移行

學制の新制度への移行は既に始まつてしまつ

た、他動的に、何等反省されることなしに。又舊い建築家の幻影を畫いて舊制大學の縮少版が出来ようとしている。即ち高等學校三年、大學三年のコースは新制大學の名のもとに一般教養學科二年・専門學科二年のコースになるものと考えてよい。しかし乍ら先にも述べた様に問題はその運用であり運用を司るものは人である。

新制大學教授・助教授の認定は新制大學設置委員會に依つてなされた。その方法は被認定人の學歴・教授實績・研究論文・著書・社會的活動等の各項目について採點しその合計をもつて機械的に四級に分け、それをもつて各人の資格認定と新制大學設置の許可の重要な資料となされたのである。この間に於ける遺憾なる點は研究歴の質的検討が疎になつたことと共に、研究實績が乏しいことのあり勝な建築家とか技術者と自負する人々の設計・監督の實績が推奨されなかつたことである。尙學生に對する指導性及び徳性と云う様なことも殆んど考慮されなかつた。斯る粗雑なる選考法を以て始めの嚴選方針に變つて殆んど總花式と云い度い程の資格認定がなされたのである。斯る事情によつて、舊制大學に於ては建築科教授が殆んど其儘新制大學の教授に移行し何等新に期待すべきものはない。唯東京大學第一・第二工學部に於ける設計製圖指導に若い人々を拔擢したことが新味と云えば云える程度のことである。専門學校が昇格した新制大學に於ては先づその%の教授が移行したのと考えてよい。新しい人々は停年教授、植民地の學校の教授、舊大學に於ける研究者及び官僚出の人達で前者と同様新に期待することは困難である。總じて新教授會の抱負は舊制に於ける學生の學力を保持しようとするのであるから

安井建設株式會社

取締役社長 安井 武雄

本社 大阪市東區安土町二丁目二番地
電話 新町 2043番
出張所 兵庫・京都

塗料・顔料・螢光板
増感紙・螢光燈・誘蛾燈

大日本塗料

本社 大阪市此花區西野下之町三八
東京支店 東京都中央區日本橋吳服橋三丁目五
工場 大阪・横浜・茅ヶ崎・平塚

凡そ新制度の精神とは反した詰込み教育が行われることだろう。しかし乍ら私の見る處では學力の低下は必須である、それは下級學校の教育方針を見ても年限の短縮から云つても推察出来る。恐らく専門技術から云えば舊制専門學校程度又はそれ以下の學力となるのではあるまいか。

此の儘新工學士を世に送ることになれば良いにせよ悪いにせよ事務的才能があり社會人らしいが學力の不足した卒業生が出來て業界の負擔は増々重くなることであろう。例えば詰込みによつて學門の消化不良を起した卒業生が就職に當つて『二年間建築の話聞いて來たが意匠は解らないし構造計算も苦手で製圖は體に悪い』等と平氣で云える様になるかも知れない。

3. 新制大學建築學科あり方の探究

嚴密に云えば私が茲に主張することが出来るのは社會的基礎に立脚した建築學科のあり方の探究がなされねばならないと云うことである。例えば卒業生の職種別による統計、職種別に於ける必須學力の最低限界、現状と將來との間に出来る差を表わす係數等關係者の輿論調査を含んだ強力な基礎調査が必要である。故にそれなしで建築學教育に就いて論ずるのは正鵠を失するものである。しかし乍ら強いて私が貧弱な意見を呈しようとする所以は一人の見解も全體に資する筈であるし又これを契機として識者の意見が述べられることを期待するからである。

先づ大學建築學科は社會が必要とする建築の高級技術者を育成することを第一義とする。研究者や所謂 Architect はより高次のものであつて大學

教育の對象とはならない。即ち研究者は大學院又は諸研究機關に於て教育すべきものであり、Architect は個人の性格的要素が多く、例えば小説家・政治家又は映畫監督に於ける如く學校教育の對象とはならない。強いて云えば塾（近世の School に當る）に於て個人又は團體が教育すべきものである。

然らば高級技術者の育成を明確なる目的となす以上新學制に伴う専門科目の學力の低下を防止し逆により有用なる人材を得る爲には建築學の範疇に於て一分野を專攻せしむるより外ない。即ち大學三年に於て構造通論（材料學及び初等構造力學を含む）、人文科學的計畫論（建築史及び法規を含む）、自然科學的計畫論及び表現法として製圖を課し、四年に於ては主として專攻分野を課して特技を與える如き構想が適すると考える。後期に於ける分類には問題がある處であるが意匠→Designer、構造計算→Constructor、中樞設備→Engineer と云う分類がよいのではないかと思う。

斯る分類は現在 U.S.A. に於いても採用されている處であり現下の非正常な建築界に於ては例いその必要度が小であつても、年とともに正常化すれば建築技術上の Specialist の需要が嵩まることは必定である。以上、抽象的敘述となり具體的類證に乏しくなつてしまつたけれど既に指定紙數を過ぎているので、筆者の意のある處を汲まれることを乞ひ筆を擱く次第。

(IX20, 1949)

(筆者・攝南工專教授)

理想的床材料

リノリウム リノタイル

特製リノリウム糊

東洋リノリウム株式會社

本社・工場 兵庫縣伊丹市伊丹五五八 電話伊丹1・51・69

大阪事務所 大阪市東區瓦町二丁目三和ビル
電話北濱375・376番

東京支店 東京都中央區銀座四丁目三和ビル
電話京橋1701・2564番

所

感

中 村 眞

總ゆる建築が、文化的總和として構築され、その中で建築家は近代文化の指導者として、また造型藝術家としてのデザイン能力を示して來た。だがそのデザインは我國では非常に低級なものに対しては、常に指導的意義を果しては來たが、果してこれらが世界に誇り得るデザインであると、世界語で示したものは甚だ勘ないことを誰もが認めざるを得ないのは、他の藝術分野と同じく悲しい現實である。

建築家がエンヂニヤアとアーチストの兩方から締出しをされて、資本家と労働者の板ばさみになって、餘りにもその地位のアイマイさの故に負しい生活を餘儀なくされている事は、その自らの能力に對する、無自覺と不定見とも原因していやしないだろうか。デザインの眞の意味はアレンジメントではなく、あくまで「未知の創造物」であるのを第一の條件とせなければならない。曾ては「美」が一つの目標であつた。だが私は今では造型されるものすべての目標は「20世紀の調和」であるといいたい。これは勿論今日のアヴァンギャルド精神にも、或いはアプレゲルの共通性に通じるところの飽くなき新造型の追求に他ならない。現在では最早マドロスパイプ長髪の藝術家は不必要なのだ、この型に屬する作家が繪畫の分野でも文學其他に於ても刻々民衆の生活から遊離する自慰作品を作り脱落寸前にあることを示しているのは單なる事實に過ぎない。

畫家も建築家も、また物理學者、醫家、農家と同様、瞬間も忘れてならない對象は、作品を創る技術ではなく人間と空間との大調和である。が併し、悲しいかな、これが現實だといつてすぐ眼前の、この方が手つとり早いとか、合目的だとかのイージーな方法にゲンワクされて、デテイルに自らを附めすぎるやうに思われる。

デザインとは前記の如く決して文様や色や形象の統合を指すものではなく、また建築ドロイングはまた一つのデツサンとしての有機的な線と色面を決定したものでなければならぬ。ル・コルビュジェ・ヤノイトラ・ブロイヤア・アールトが挺身示して來たのは、單なる思いつきの表現ではなく彼らの絶えざる實驗の一報告なのである。

今度、私が依頼を受けてデザインした。大阪心齋橋筋のナイトクラブシスコは私の20餘年の畫生活の一つの綜合であるべく勉めた。これは決してアブストラクト・アーチストとしてのアルバイトでも逃避でもなく、勿論、繪を描いていたコルビュジェが建築をやり出したり繪をやつたりする眞似でもない。繪畫が地平線や自然形象を捨ててから未だそう永くたつていない、建築も裝飾や、天ブラ式ゴマカシを捨てたのもつい此頃である。

晩近、われわれの視覺を充分に満足させる造型物は、どここの國にも非常に多く見かけるようになったのは、20世紀半ばにしてようやく20世紀文明の生産期に到達したことの一つの證左ではないだろうか。

ナイトクラブシスコは、約40日の工期とほぼそれ位の期間の計畫・設計でなされた。戦前の鐵筋コンクリート3階建、元明治製菓心齋橋賣店の1・2階の改裝である。此種建造物の裝飾過多は久しく幽靈屋敷的なものであつたが、これは御客様とパートナー・ボーイ・音楽・着色光線・アルコール等が全部で一つの調和を生むべく、實は非常に控目な裝置でなければならぬと留意したことを見て戴きたい。

(筆者・自由美術家協會々員)

強くて優雅な

リグノイド床

テックス
フローリング
気光式通風器



責任施工

田辺工業有限會社

大阪市西区江戸堀上邊一丁目五
電話土佐堀(44)2677

新制作派協会建学部設置について



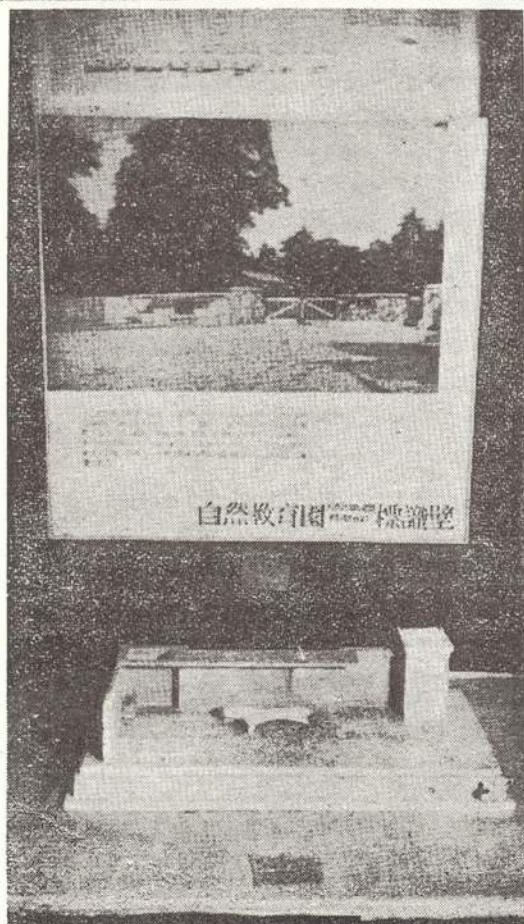
PERSPECTIVE

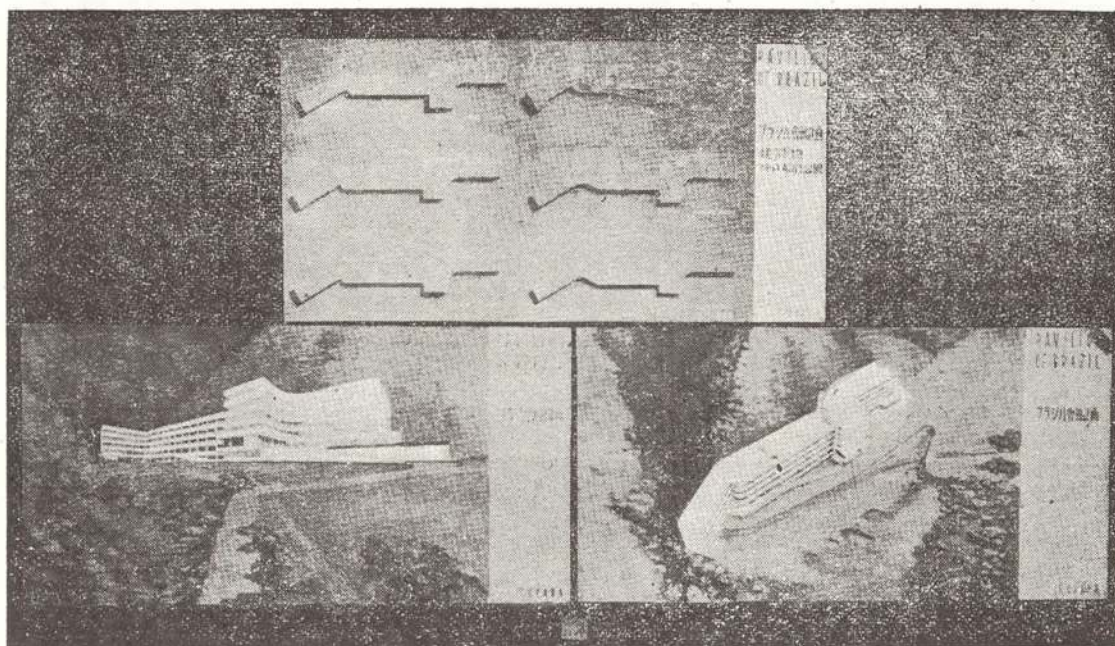
小磯良平

新制作派協会は昭和14年第4回展から彫刻部を設けて独自の空気をつくつて來ましたが、昭和24年第18回展から新しく建築部を参加せしめて、いよいよ新制作派らしい空気を充實させる事に成功しました。メンバーは丹下健三、谷口吉郎、池邊陽、吉村順三、岡田哲郎、山口文象、前川國男の諸氏です。

建設は申すまでもなく造型藝術の最も大切な部門でありまして、今後の日本のためには繪畫、彫刻及び建築がてんでばらばらに各自勝手に動いていたのが間違つていたのです。お互に關れんを持ち、視野を廣くして新しい計畫、新しい容器（建築）に、新しい立體（彫刻）、新しい平面（繪畫）と云う事を考えなければ意味をなさないと思います。この意味から繪畫、彫刻、建築各部の人達心持を同じくするものの集まりを持ち得ました事はお互いに心を通はせ刺激をうけ合い、メンバーの各個性の特色を生かして、多様性をもつて、今後年次を追つていいものを世に問う事が出来るのではないかと思います。

今年、上野の美術館で最初の建築部をふくめた新制作派展がひらかれましたが、展示方法の上に在





來の美術展にない空氣をつくり出しまして世の注目を引いたのですが、私達はまだまだと思つております。繪畫と彫刻とは御存じの様に作品そのものを直接觀光者の前にならべる事が出來ますが、建築そのものは展示場に並べる事は出來ません。プランはあくまでプランであつて作品ではありません。建築はあくまで外部からながめ、内部にはいり、歩み、ふりあおぎ、壁にふれ、床をふまなければなりません。今日まで總合された造型藝術の展らん會がなされなかつたのはその點にもあつたかもしれません。しかし又、プランもあり、作

品の寫眞もあり、模型もあり、家具もあり、そしてタペリーもあり、遂に繪もあり彫刻もリーフもと云う事になつて建築が造型形式の完全をのぞみ得るのであつて、將來の展示形式の如何によつては面白い轉回を豫想されないとは云えませんでしょう。メンバーは皆この將來えの夢をもつて、日本の今後の美しい社會のためにまづ歩みはじめたわけです。

・以上が私の建築部設置の辯です。

(筆者・新制作派協會會員、畫家)

建築寫真

日本建築協會御用命

森 庄 次 郎

ユニヴァース寫眞工務社

大阪市南區笠屋町四番地

電話南(75) 0240番

白蟻

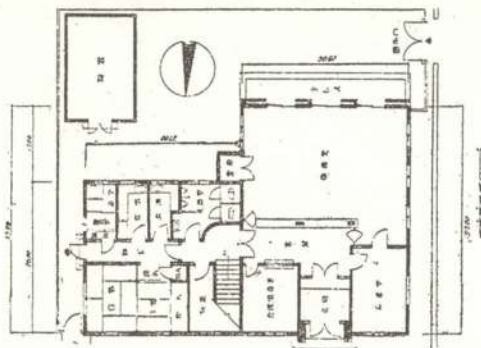
駆除 ★白蟻のついた建物又は立木は保
険上撲滅施工を御勧め致します

予防 ★新建築物に白蟻のつかぬ予防法を御奨め致します

前田白蟻研究所

和歌山市小松原通り四丁目一番地
(市電日赤病院前)電話和歌山一三八九番

久 寶 館



建築位置 大阪市東區北久寶寺町2丁目20番地

設計施工 安井建設株式會社

敷地面積 105.83坪

建築面積 1階 51.47坪、2階 44.46坪

仕 上

床 玄關客溜、コンクリート打テラゾ目地切仕上
應接事務室、談話室、集會室フローリング、
オイルステイン仕上

腰 玄關客溜、特殊型タペストリータイル貼り、
應接事務室、堅木ベニヤ、オイルステイン仕
上

天井 玄關、應接、談話室、事務室、プラスターオ
イルペンキ叩キ仕上、一部プラスター鍍仕上
集會室、杉無地板打上、オイルペンキ塗仕上

屋根 小屋、木造トラス、日本瓦葺

外部 青色セメントモルタル掻落仕上

大阪南納稅會館

建築位置 大阪市南區高津7番町27ノ1

敷地面積 263.13坪

建築面積 1階 54.91坪 } 延111.37坪
2階 56.46坪 }

設計施工 安部建設株式會社 田中新臣

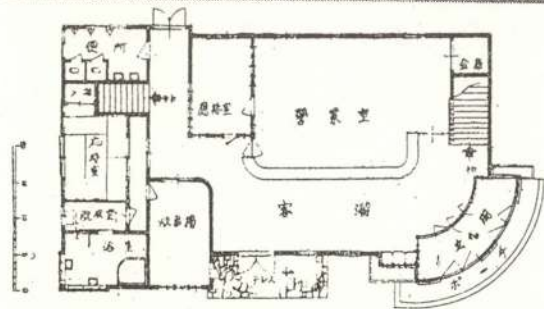
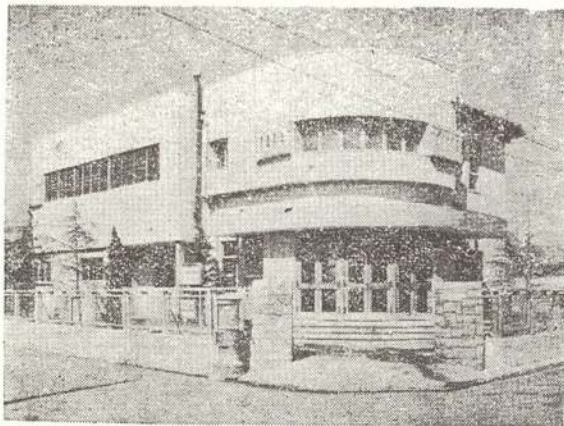
外部仕上 外壁、色モルタル掻落シ、玄關廻り、テラゾ
ー及一部グラニツト、屋根4寸5分勾配

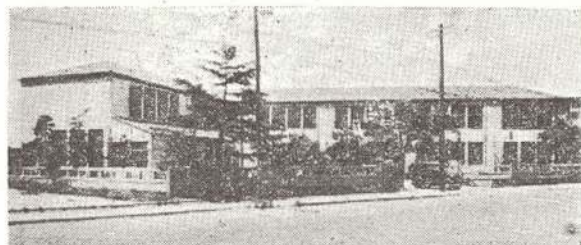
日本瓦葺

内部仕上 玄關及客溜り床、真鍮目地入りテラゾ仕上ゲ
事務室床、オークフローリン貼り、壁天井プ
ラスター塗仕上ゲ、2階會議室床、密木貼り
腰羽根6尺通り塩地氈ベニヤ板貼リニス仕上
ゲ、天井プラスター、日本間ハ柱造作材全テ
母材疊敷、天井板杉板貼リ

設計要旨

時節納稅務署と云う感じが非常に冷い感じを與えます
ので、其の協力的な立場にある納稅會館は、何處迄も明
るい親しみ易い感じのものと其の點に苦心いたしました。
様式は近代式に、1階は事務室を主に台所、宿直室
及浴室を設け、2階は會議室、事務室並日本間を設けま
した。日本間は色々協會員の長時間に亘る懇談及總會に
收容力を増す爲、座席としたものであります。





大阪追手門學院中學部

場 所 大阪市東區京橋前ノ町
設計監理 日本建設産業株式會社建築部
施 工 株式會社 朝日組 (守口市)
工 期 起工 昭和23年12月7日
竣工 昭和24年6月8日

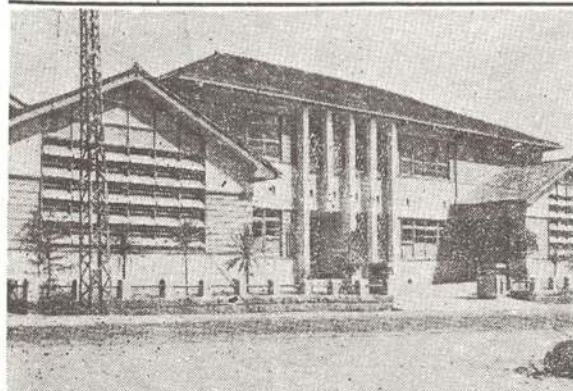
建築面積 1階 258.417坪
2階 233.917坪 合計 492.334坪

構 造 基礎、無筋コンクリート、床、根太フローリング床、一部コンクリート土間、壁體、木造軸組、小屋、木造小屋組

外部仕上 ラス色モルタル掻き落シ、玄関廻り、人造石洗出し、研出し、屋根、赤色鹽焼瓦、勾配4寸5分、建具、木造硝子入り、ベッキ仕上、防火扉は鐵扉

内部仕上 麻、フローリング、グーズティン仕上、土間はタイル、モルタル仕上、腰、板貼、壁、漆喰塗天井ベニヤ板、水性ベッキ塗

設備工事 便所は水洗放流、電灯、電熱、給水工事



兵庫縣度量衡檢定所

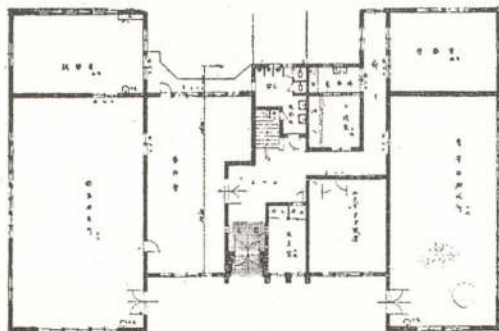
場 所 神戸市生田區下山手通4丁目
設 計 者 兵庫縣建築部營繕課
施 工 者 株式會社 熊田工務店神戸出張所
竣 工 昭和24年2月28日
仕様概要

建 坪 169坪 延坪274坪

構 造 木造2階建 あかがね瓦葺

仕 上 外部 下見板貼ベッキ塗一部大壁粗面仕上

内部 壁—プラスター塗、玄関及ポーチ—クリンカタイル貼、床—板張亜麻仁油塗、腰—ベニヤ板貼ベッキ塗、一部モルタル塗ベッキ仕上、天井—テックス水性ベッキ塗



市川齒科醫院

場所 和歌山市内

設計施工 島村建築事務所

竣工 昭和24年8月

仕様概要

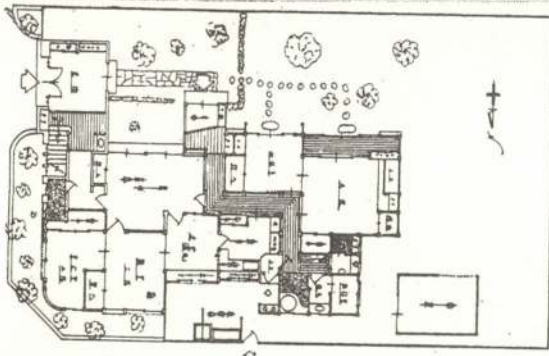
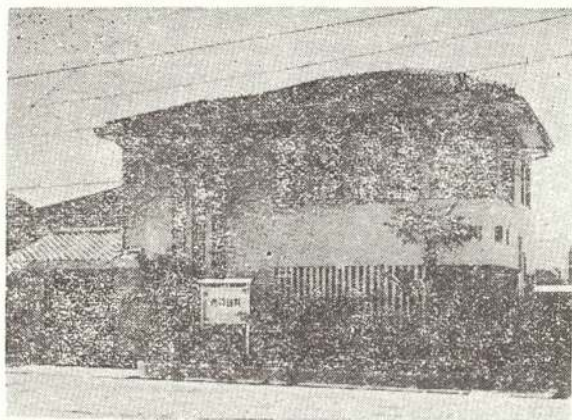
建坪 38坪75 延坪 58坪25

構造 木造2階建

外部 ラス、モルタル下地、クリーム色リシン
一部立羽目板貼、ペンキ塗仕上

屋根 淡路産六四瓦、4寸5分勾配

内部 床—桧フローリング、ステイン仕上、玄関、
土間—タイル貼、壁—洋室—プラスター、日
本室砂壁、天井—洋室—見出貼付粗面漆喰塗
及テックス仕上、日本室竿簾天井
階段—木筋スチール塗仕上巾3.5寸



日本聖公會聖テモテ教會

建築位置 堺市濱寺諏訪森町東ノ丁

設計 池上建築事務所

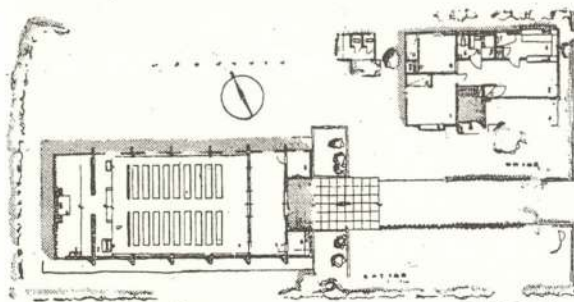
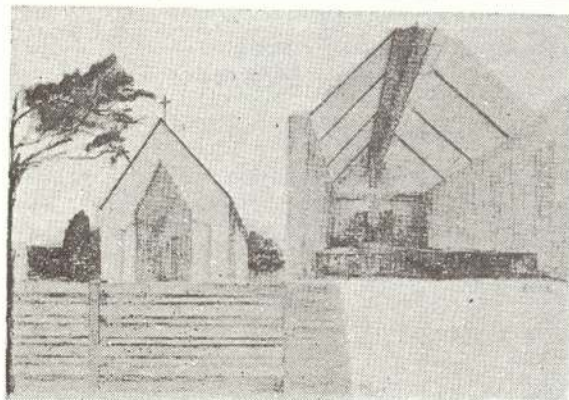
施工 和光建設工業株式会社

建築面積 會堂 40坪 牧師館 18坪

附屬 便所 1.5坪 合計 59.5坪

仕様概要 木造平家建會堂骨組山形ラーメン、外装ラス
下地色モルタル掻落シ、玄関廻り人造石洗出
目地切仕上、壁天井—漆喰、床—フローリ
ング、玄関モルタル目地切、屋根—銅洋瓦葺

會 堂			牧 師 館		
1	チャンセル	1	牧	師	室
2	聖	壇	2	居	間
3	會	衆	3	寢	室
4	會	衆	4	寢	所
5	牧師	控	5	便	所
6	湯	沸	6	洗	面
7	入	口	a	床	地
a	聖	卓	b	下	駄
b	聖	書	c	押	箱
c	説	教	d	ハ	入
			e	出	チ
			f	風	窓
			g	テ	口
				呂	ス
				焚	
				レ	



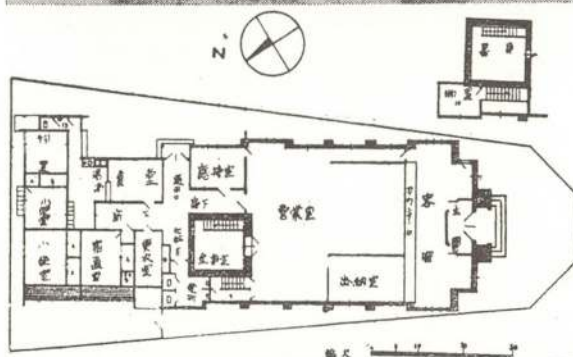


山口銀行漁港支店

場所 下関市大和町
設計監督 山口銀行善繕課
施工 株式会社 大林組
建築面積 1階87.94坪 中2階6.92坪 合計94.86坪
建物大要 木造平家建1棟、基礎—コンクリート造、軸組—木骨造、小屋組—洋小屋及1部和小屋、屋根—日本瓦葺き勾配4寸5分。

外部仕上 正面玄關柱型及腰廻りハ振石小叩キブロック貼仕上、正面階段ハ花崗石トス。正面及側面窓廻リハテラゾーブロック貼仕上。
其他ハ人造石洗出仕上。附屬家外壁ハ堅板貼リクレオソート塗仕上、腰廻ハモルタル塗仕上。

内部仕上 床—營業室、應接室、電話室等ハ橡甲板貼、客室ハ人造石洗出シ、其他ハモルタル塗仕上和室ハ畳敷キ。巾木—營業室、應接室等ハ板貼ベンキ塗、客室ハテラゾー研出仕上、其他ハモルタル塗仕上。腰—營業室ハプラスター塗、客室ハテラゾー研出仕上、其他ハモルタル塗又ハ堅板貼仕上。壁—營業室及客室ハプラスター、塗仕上、和室ハ眞壁漆喰仕上。天井—營業室及客室ハプラスター塗1部ベニヤ板貼ベンキ塗仕上、和室ハ竿簾天井。



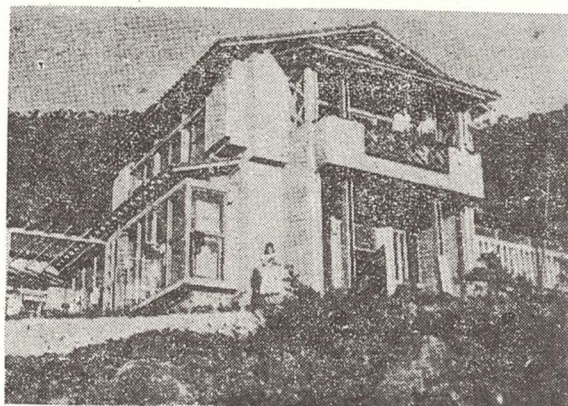
岩國錦水軒ホテル

建築位置 岩國市驛前
設計施工 株式会社 大林組
建築面積 1階123.10坪 2階96.80坪 合計219.90坪
建物大要 木造2階1棟、基礎—コンクリート造、軒組木骨造小屋組—和小屋、屋根—日本瓦葺、勾配4寸5分

外部仕上 正面玄關柱型大理石、外ハ色モルタル吹付仕上1部テラゾーブロック貼り、バラベツトハテラゾーブロック貼り。腰ハ正面廻り人造石洗出シ、其他ハモルタル塗仕上。

内部仕上 床—ホール、喫茶バー、洋客室、廊下等ハフローリング貼り、2階應接室ハ寄木貼り、玄關ハ人造石研出目地切仕上、和室ハ畳敷キ。巾木—ホール、食堂、喫茶バー、食堂、洋客室2階應接室等ハ欄材オイルステイン仕上、其他ハ板貼リベンキ仕上。
腰—ホール、食堂、喫茶バー、洋客室、2階應接室等ハ欄材オイルステインワニス仕上、玄關ハ藥掛長手タイル貼り其他ハベニヤ板ベンキ塗仕上。壁—玄關ホール、食堂、喫茶バー、2階應接室等ハプラスターベンキ叩キ仕上、其他ハプラスター仕上、和室ハ砂壁仕上天井—玄關ホール、食堂、喫茶バー、2階應接室等ハプラスターベンキ叩キ仕上、其他ハプラスター仕上、和室ハ竿簾1部鉛底天井。





三菱レイヨン

健康保険組合阿多田島保養所

施工場所 廣島縣佐伯郡小方村字阿多田島

設計者 鈴木廣好

施工者 株式會社 大林組

建坪 49.83坪 2階17.97坪 延坪 67.80坪

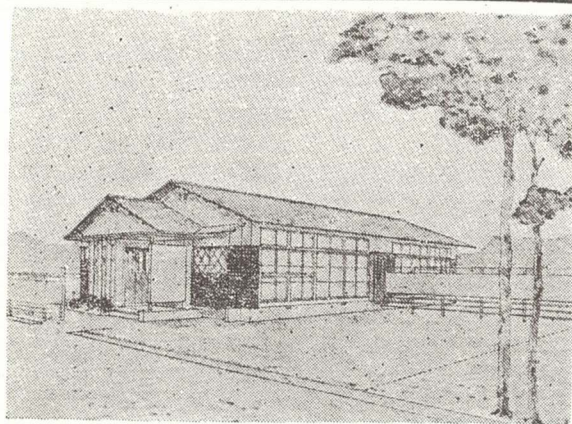
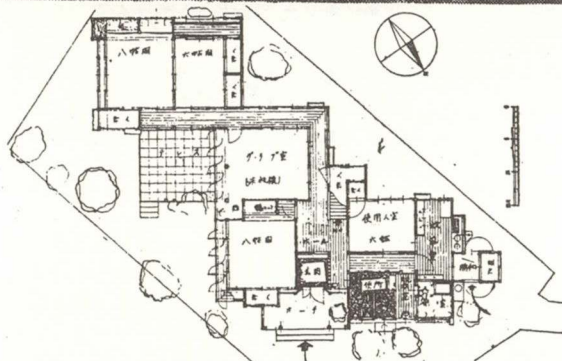
工事竣工 昭和24年6月31日(工期3ヶ月)

構造 木造平家建 一部2階建

内部主要部 眞壁疊敷キ、一部大壁水性ペンキ塗り、
外壁ラス貼りモルタル塗り刷毛付キ仕上、木
部外部ハ凡テペンキ塗り仕上、玄關入口扉ノ
ミワニス仕上玄關脇8帖及娛樂室窓ハ強化ガ
ラス(89 $\times$ 34 $\times$ 3/8 $\times$ 3/8)ヲ使用。

建築目的 三菱化成工業株式會社大竹工場健康保険組合
は従業員家族の保險施設として工場より海路
約6料の阿多田島に遇カ保養として建設した
もので、建設地は同島海岸より約0.5軒、島
崖にて前方に嚴島裏側を望む風光明媚の地で
海水に便なる位置にあり夏季を主目的として
建設したものである。

設計希望として多人数が一時に宿泊し得るた
め、經費の點より和室疊敷とした。



三菱化成工業株式會社

大竹工場職員社宅

場所 廣島縣佐伯郡大竹町字小島新開

設計者 鈴木廣好

施工者 大林組、立戸組、相良組、大竹合同組

工事竣工 昭和24年10月

構造 木造平家建(1棟2戸)11棟

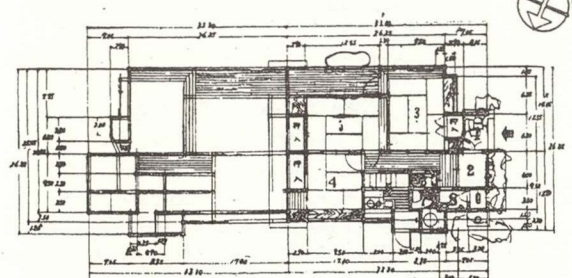
建坪 1棟42.200坪 1戸21.10坪

概要 屋根一本棧瓦葺キ、外壁一杉下見板貼り、
上部モルタル塗り、室内一眞壁大津、疊敷、
木部一外部ペンキ塗り、室内素地

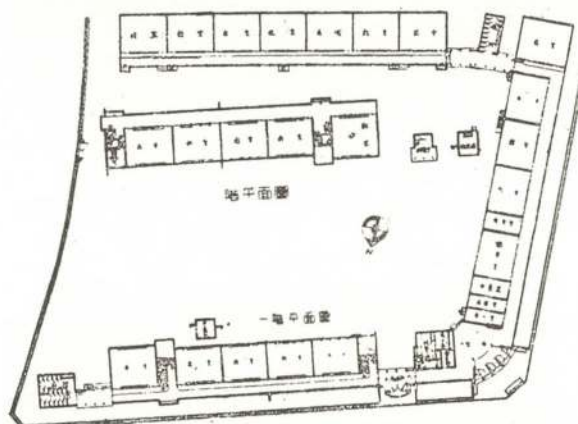
1 ポーチ 4 4帖半 7 浴室

2 玄關 5 台所 8 便所

3 六帖 6 洗面所

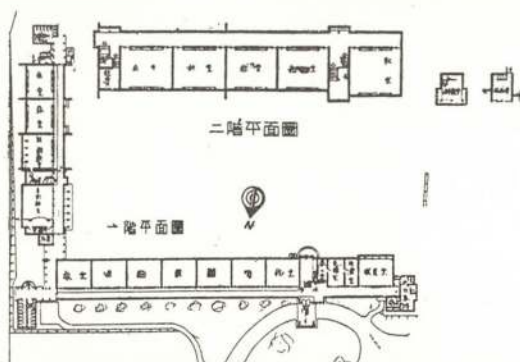
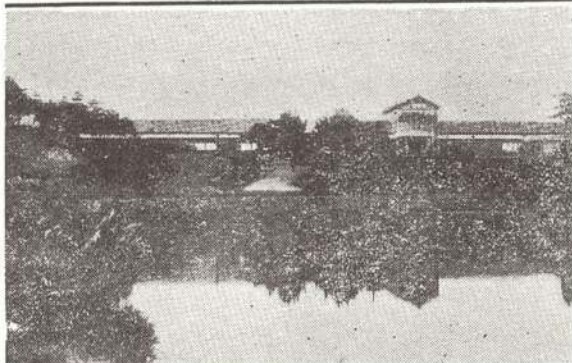


豊中市立第三中學校



- 場 所 豊中市櫻塚本通り三丁目
設計監督 豊中市役所管轄課
施 工 株式会社 田中組 東洋建築株式会社
敷地面積 2408.10坪
建築面積 1階 643.50坪 2階 165.00坪
3階 500坪 延面積 813.50坪
構 造 基礎—無筋コンクリート、床、教室—檜フローリング貼り、廊下—コンクリート土間、壁體—木造軸組、小屋—木造トラス。
外部仕上 平家—腰杉下見板貼りベンキ塗、小壁—ラス下地色モルタル仕上、玄関廻り—ラス下地色モルタル掻落シ。2階建—2階窓下ヨリ杉下見板貼りベンキ塗、上部壁—ラス下地モルタル仕上、厚型スレート葺勾配5寸、屋根—厚型スレート葺、勾配5寸、開口部—木造建具硝子入りベンキ仕上、一部ステイン仕上。
内部主要仕上 腰—堅羽目ベンキ仕上、壁—漆喰仕上、天井—平家—テックス貼り水性ベンキ仕上、一部玄関廻り漆喰仕上、2階建—1階ベニヤステイン仕上2階テックス水性ベンキ仕上。
設備工事 電燈、電熱、気候観測室、給配水工事。

豊中市立上野小學校



- 場 所 豊中市上野
設計監督 豊中市役所管轄課
施 工 栗本建設工業株式会社
株式会社 長谷川工務店
敷地面積 3743.97坪
建築面積 1階 490.50坪 2階94.75坪
延面積 585.25坪
構 造 基礎—無筋コンクリート、床、教室—檜フローリング貼り、廊下—コンクリート土間、壁體—木造軸組、小屋—木造トラス。
外部仕上 平家—腰杉下見板貼ベンキ仕上、小壁—ラス下地モルタル塗漆喰仕上、玄関及ポーチ廻り—人造石洗出し目地切仕上、2階建—ラス下地モルタル仕上、屋根—厚型スレート葺、勾配5寸、開口部—木造建具硝子入りベンキ仕上1部オイルステイン仕上
内部主要仕上 腰—堅羽目ベンキ仕上、壁—漆喰仕上、天井、平家—テックス貼り水性ベンキ仕上、1部玄関廻りベニヤステイン仕上、2階建、1階ベニヤステイン仕上、2階テックス水性ベンキ仕上。
設備工事 電燈、電熱、給配水工事

オーストラリアに於ける住宅管理組織について

(1)

最近、住宅を従来賃貸形式から持家化するという目的の下に、オーストラリア・シドニー市において、後述するような新しい組織を利用するという計画が始められている。

従来のアパート建築では、種々の法律的な制限から、居住者がその住居に関するいろいろの権利を與えられるのは、主として診療所のような専門的な事務所や、住居としても餘程贅澤なものに限られており、(建物の規模、独立性等より) 中小アパートの居住者が各々の住居を自分のものとする事は、容易にできなかった。

戦後、この種法律上の障害が撤廃せられた爲次に述べる新しい組織——共同住宅組合組織——を利用して、住居を自分のものとする事が可能となつた。それは、多くの居住区を持つた大アパートを建設し、その各戸の権利を各居住者が所有し、建物は、所有者の組織する組合に依つて管理し、運営して行こうという制度である。この制度は、ヨーロッパやアメリカにおいて、既に利用せられているものである。

(2)

建物は12階建て、各階4戸 一棟38戸を収容しシドニー港を大観する風光明媚な地域に建てられる。一戸當り床面積(廊下廣間共)は、1200平方呎(34面坪)で、建物の裏から正面に亘つて配置せられ、寢室2、客間兼食堂1、台所、浴室、バルコニー及廣間の諸室があり、電気ヒーター、レンジ、電気冷蔵庫が作り付けとなつている。台所と浴室は建物の裏側に位置している。屋上には洗濯場あり、6臺の電気洗濯機と大きな乾燥室が備

連合軍總司令部民間情報教育局提供

えられている。地階のガレージは、20車輛を収容し得る。各階のリフトは、1リフトを2戸が使用するように計畫されている。各戸の正面は全面ガラス張り半圓形の平面となり、そのため、ベッドルーム、客間兼食堂、バルコニー等は、床上より天井下端まで一杯の窓となり、冬季の低い太陽光線を最大限に受入れられるとともに、夏季の直射日光は遮弊することができる。

床は、6吋厚(5寸)コンクリート打の上、防音効果をも考慮して寄木貼りの上油ビキ仕上げとしてある。

これに要する建設費は、一戸分8600~4600ポンド(370~466萬圓)を要し、最上階が最高で、下階へ下る毎に一階當り100ポンド宛低下する。この価格は、建物正面に半圓形のガラス窓を附した爲に要した費用や、建築費の一般的な高騰、附近地價の價格等を考え合わせると、決して高價なものではない。

購入の申込は、即金、或いは50%の手附金を置き、残りは、一定期間中に支拂うという形式をとる。

(3)

建物は組合の所有となり、組合によつて運営、管理せられる。もちろん、組合は無配當である。

組合は、各住居の所有者である38人によつて構成せられ、その中から、理事會を選任(任期2年)して、直接の運営に當らせる。各組合員は、各自所有の區畫の原價(組合で證認した)に相應した權利と、義務(例えば、2000ポンドの原價を持つ區劃を所有する者は2000口、3000ポンドならば3000口)を與えられ、その額に應じて維持費や税金を負擔し、永久的にその所有權を保證

せられる。與えられた區劃内は、全然所有者の意志に従つて利用せられ、内部を改造すること等も自由になる。所有者がこれを他人に貸與し、又は遺贈したり、或いは組合で證認された者と賣買契約を結ぶこともできる。又、數人で共同して所有することも可能である。

建物の運営に關する費用（エレベーター、洗濯場、等共同施設の整備、内外の修理、その他税金、水道費等）は、總べて組合の負擔となり、その額は最初の5年間は比較的少ないが逐次増加して、1年70ポンド（7萬圓）となるから、非常に低廉であることがわかる。

上述のように組合員は、多くの權利を認められているが、他の組合員に迷惑を及ぼしたような時には、組合に依つて追放處分を受けることがある。この場合には特別委員會が設けられ、その組合員に對して彼の權利を他の適當な者に賣渡すことを要求する。但し、それは組合によつて證認された者でなければならない。若し一定期間中に、これが行われなければ、組合は、追放者の權利を競賣に附し、適當な購入者にその區劃を利用させることになる。

(4)

現在既に建物の各權利は殆んど賣り盡され、購入者は上流の階級に屬する人達で占められている。この計畫に當つた建築家は、A.M. Blot氏で建築費總額は140,000ポンド（14200萬圓）を要した。

シドニー市においては、又、これと同様のシステムによつて新しい二つの建築から計畫されている。この計畫では諸經費の點で、大部節約され各戸當り2600ポンド（260萬圓）税金、維持費がは約50ポンド（5萬圓）程度となる豫定である。

（註、邦貨への換算は、1ポンド=1008圓とした）

株式會社 大林組研究部 橋本譯

青 寫 眞

水銀燈焼付

堂ビル前西入

天満公共職業安定所前

堂島青寫眞工業所

電話福島③3375番

相 互 幹 旋

本欄は各支部及全會員各位擴く御利用方切望いたします

○新築住宅分譲

南海本線住ノ江驛 南木造瓦葺平家建18坪、15坪二種 敷地50坪附 一戸80萬圓内外、目下分譲中。

○圖書譲りたし

1922年版スイートカタログ1冊 希望者に適當價格で譲る。

○家屋譲りたし

三島郡三宅村宇野邊、平家約80坪、離れ2階建17坪、土藏3棟及物置附、門塀完備、敷地約300坪、別荘、寮、集會所等各方面利用價值あり、至急譲りたし。

○嫁入りたし

女専出身26才、容姿普通、體格良、明朗、趣味は音楽、料理、スポーツ。父は教育事業、血統良、舊専門校出又は以上の人に嫁ぎたし。

○解説附建設業法パンフレット分布中

若干残本あり、希望者は送料共 ㊦ 75.00

○求 職

甲種工業建築科出 36才、24才

同上 積算に堪能家 30才

以上御照會は本會事務局長宛の事

「建築と社會」バックナンバー

機關誌「建築と社會」のバックナンバーは再三誌上にて御知らせ致しましたが、此の一應整理致すことになりましたので御希望の方は至急御申込み下さい。

尙價格等詳細は本誌9月號を御覽下さい。

非 戦 災 感 謝 記 念 塔

設 計 反 對 聲 明

拜啓 時下爽涼の候貴下益々御清榮の事と存じます。

さて、さきに京都市の一部有力者により企圖せられた非戦災感謝記念塔なるものは「京都市をして爆撃より免れしめた、アメリカ合衆國の軍官民の御高恩に對する市民の感謝の意を永久に記念すべく、京都驛頭の大廣場を劃して一大記念塔を建設しよう」との意圖によるものでありまして、目下着々とその下準備を完了したあげく、これが設計計畫案を廣く募集する運びに立至りました。以下聲明によつても明かなる如く、その劣意、愚策、まさに一笑に附すべきものながら、之が實現の嚀には、單に京都市のみに止らず、廣く日本國民として、侵略主義戦争の恥の上塗をいれいしく、不滅のモニュメントとして、京都市の玄關空高くそびえしめることになり、まことに裕餘ならぬ事態として、既に各方面よりの強力な反對意見の渦をまきおこしつつありますが、われわれ建築家としてはとくに設計應募反對にその重點を置いて、これが實現反對運動に邁進致したく、以下の聲明はすでに當事者に手交致しました。何とぞ貴下におかせられてもこれが御協力を切に御願ひ致す次第であります。

「建築と社會」について

希望回答願います

本誌も會員各位の御後援と御協力により漸次充實し好評を得ており、内容も各位の御希望に副う様盡力して参りましたが、此の際尙一層の前進と斬新を期し、會員各位の本誌に對する感想、希望について下記要項等につき簡單なる御回答を得たく存じます。

1. 今迄の掲載内容に對する感想。
2. 今迄のもので續けたいと思われる記事。
3. 必要なしと思われる記事。
4. 新に是非のせたいと思われる記事。
5. その外今後の會誌に對する希望。

本邦史上稀れに見る社會的愚學として心有るものを啞然たらしめた非戦災感謝記念塔の建設計畫は喧々囂々たる輿論の憤激反對の聲に耳を掩つて既に地鎮祭を行つたあげく、今回更らにその設計計畫案を公募せんとしていると聞く。京都市をして非戦災都市にらしめたものは長い歴史を通じて保存育成せられて來た貴重な文化財の故に他ならぬのであつて、その非戦災の根元とも云うべき文化財の修理、保存が現下の緊急事なるを顧みず、これを荒廢の儘に打ち捨て、或いは更らに文化都市を以て自ら任ずる京都の都市諸機能の復興發展、或いは住むに家なき人々の爲めの住宅建設等を尻目に、一記念塔の爲めに 1,500 萬圓の巨費を投ずると云うことが如何に愚かな行爲であるかは全く論ずる餘地のない處であらう。これは全く本末顛倒せる手段であり、徒らに後世の笑ひ草としてその巨大な醜體を永く白日下に曝らすに過ぎぬものとならう。斯くも世界に類例なき愚劣にして無意味なるモニュメントを設計せんよりは、寧ろ吾々建築家は潔きよくその職を抛うつことに躊躇せぬものである。

然るにその設計案は今や廣く全國に求められようとしている。こゝに於て吾々新日本建築家集團 (NAU) は全國の良識ある建築技術者、藝術家としての立場より、當該設計應募に對する絕對反對の意を表明するものである。

新日本建築家集團京都支部

タカラ風呂 タカラボイラー

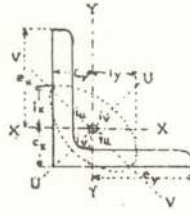


ビックリする程
早く沸く
風呂とボイラー
二十有余年の経
験を有し最高の
製品と技術を誇る
御愛用を！



大阪市浪速区眠橋西詰角
株式會社 **タカラ商會**
代表取締役 保科通治

建築積算便覧(第7回)

J E S		日 本 標 準 規 格										第 2 6 號	
標 準 形 鋼												類 別 G 15	
附 表												頁 2	
等 邊 山 形 鋼													
慣性モーメント $j = a^3$													
回 轉 半 徑 $i = \sqrt{j/a}$													
斷 面 係 數 $z = j/o$													
(a=斷 面 積)													
													
主要寸法 mm		重心ノ位置 cm		慣性 モーメント cm ⁴				回 轉 半 徑 cm				断面係數 cm ³	
A × B	t	ox	cy	jx	jy	最大 ju	最小 jv	iz	iy	最大 iu	最小 iv	zx	zy
20 × 20	3	0.58	0.58	0.36	0.36	0.62	0.10	0.57	0.57	0.75	0.29	0.25	0.25
25 × 25	3	0.71	0.71	0.75	0.75	1.27	0.23	0.73	0.73	0.95	0.41	0.42	0.42
25 × 25	5	0.78	0.78	1.19	1.19	1.87	0.52	0.73	0.73	0.91	0.48	0.69	0.69
30 × 30	3	0.84	0.84	1.36	1.36	2.23	0.45	0.89	0.89	1.15	0.52	0.63	0.63
30 × 30	5	0.91	0.91	2.17	2.17	3.40	0.93	0.89	0.89	1.11	0.58	1.03	1.03
35 × 35	3	0.96	0.96	2.17	2.17	3.66	0.68	1.04	1.04	1.35	0.58	0.85	0.85
35 × 35	5	1.03	1.03	3.52	3.52	5.59	1.45	1.04	1.04	1.31	0.67	1.43	1.43
40 × 40	3	1.08	1.08	3.33	3.33	5.56	1.10	1.20	1.20	1.55	0.69	1.14	1.14
40 × 40	5	1.16	1.16	5.41	5.41	8.58	2.24	1.20	1.20	1.51	0.77	1.90	1.90
45 × 45	4	1.23	1.23	5.97	5.97	10.33	1.61	1.32	1.32	1.73	0.69	1.83	1.83
45 × 45	6	1.31	1.31	8.89	8.89	14.48	3.30	1.32	1.32	1.69	0.81	2.78	2.78
45 × 45	8	1.38	1.38	11.48	11.48	18.03	4.93	1.32	1.32	1.66	0.87	3.68	3.68
50 × 50	4	1.36	1.36	8.41	8.41	14.36	2.45	1.48	1.48	1.93	0.80	2.31	2.31
50 × 50	6	1.43	1.43	12.50	12.50	20.27	4.73	1.49	1.49	1.90	0.92	3.50	3.50
50 × 50	8	1.50	1.50	16.17	16.17	25.42	6.92	1.48	1.48	1.86	0.97	4.62	4.62
60 × 60	5	1.65	1.65	13.83	13.83	30.86	6.80	1.81	1.81	2.32	1.09	4.32	4.32
60 × 60	7	1.72	1.72	25.83	25.83	41.09	10.60	1.81	1.81	2.28	1.16	6.03	6.03
60 × 60	9	1.79	1.79	32.23	32.23	50.18	14.28	1.80	1.80	2.24	1.20	7.65	7.65
65 × 65	6	1.80	7.80	27.70	27.70	43.44	8.97	1.93	1.93	2.50	1.10	5.89	5.89
65 × 65	8	1.87	1.87	36.50	36.50	59.09	13.92	1.94	1.94	2.46	1.19	7.89	7.89
65 × 65	10	1.94	1.94	44.61	44.61	70.47	18.76	1.93	1.93	2.42	1.25	9.78	9.78
70 × 70	6	1.92	1.92	35.15	35.15	58.59	11.72	2.09	2.09	2.70	1.21	6.92	6.92
70 × 70	8	1.99	1.99	43.31	46.31	74.79	17.84	2.09	2.09	2.66	1.30	9.25	9.25
70 × 70	10	2.06	2.06	56.68	56.68	89.51	23.86	2.09	2.09	2.62	1.35	11.49	11.49
75 × 75	6	2.06	2.06	43.83	43.83	72.69	14.98	2.25	2.25	2.90	1.32	8.04	8.04
75 × 75	9	2.15	2.15	64.40	64.40	102.6	26.20	2.25	2.25	2.84	1.44	12.05	12.05
75 × 75	12	2.26	2.26	82.85	82.85	128.7	36.99	2.24	2.24	2.79	1.49	15.81	15.81
工業品規格統一調査會													

J E S	日 本 標 準 規 格				第 2 6 號																																																																																																																							
標 準 形 鋼					類 別 G 15																																																																																																																							
					頁 3																																																																																																																							
<table><tr><th colspan="4">寸 法 mm</th><th rowspan="2">斷 面 積 mm²</th><th rowspan="2">重 量 kg/m</th></tr><tr><th>A × B</th><th>t</th><th>r₁</th><th>r₂</th></tr><tr><td>80 × 80</td><td>6</td><td>8.5</td><td>4</td><td>932.7</td><td>7.32</td></tr><tr><td>80 × 80</td><td>9</td><td>8.5</td><td>6</td><td>1359</td><td>10.7</td></tr><tr><td>80 × 80</td><td>12</td><td>8.5</td><td>6</td><td>1776</td><td>13.9</td></tr><tr><td>90 × 90</td><td>7</td><td>10</td><td>5</td><td>1222</td><td>9.59</td></tr><tr><td>90 × 90</td><td>10</td><td>10</td><td>7</td><td>1700</td><td>13.3</td></tr><tr><td>90 × 90</td><td>13</td><td>10</td><td>7</td><td>2171</td><td>17.0</td></tr><tr><td>100 × 100</td><td>7</td><td>10</td><td>5</td><td>1362</td><td>10.7</td></tr><tr><td>100 × 100</td><td>10</td><td>10</td><td>7</td><td>1900</td><td>14.9</td></tr><tr><td>100 × 100</td><td>13</td><td>10</td><td>7</td><td>2431</td><td>19.1</td></tr><tr><td>130 × 130</td><td>9</td><td>12</td><td>6</td><td>2274</td><td>17.9</td></tr><tr><td>130 × 130</td><td>12</td><td>12</td><td>8.5</td><td>2976</td><td>23.4</td></tr><tr><td>130 × 130</td><td>15</td><td>12</td><td>8.5</td><td>3675</td><td>28.8</td></tr><tr><td>150 × 150</td><td>11</td><td>14</td><td>7</td><td>3200</td><td>25.1</td></tr><tr><td>150 × 150</td><td>15</td><td>14</td><td>10</td><td>4274</td><td>33.6</td></tr><tr><td>150 × 150</td><td>19</td><td>14</td><td>10</td><td>5338</td><td>41.9</td></tr><tr><td>200 × 200</td><td>15</td><td>17</td><td>12</td><td>5775</td><td>45.3</td></tr><tr><td>200 × 200</td><td>20</td><td>17</td><td>12</td><td>7600</td><td>59.7</td></tr><tr><td>200 × 200</td><td>25</td><td>17</td><td>12</td><td>9375</td><td>73.6</td></tr></table>							寸 法 mm				斷 面 積 mm ²	重 量 kg/m	A × B	t	r ₁	r ₂	80 × 80	6	8.5	4	932.7	7.32	80 × 80	9	8.5	6	1359	10.7	80 × 80	12	8.5	6	1776	13.9	90 × 90	7	10	5	1222	9.59	90 × 90	10	10	7	1700	13.3	90 × 90	13	10	7	2171	17.0	100 × 100	7	10	5	1362	10.7	100 × 100	10	10	7	1900	14.9	100 × 100	13	10	7	2431	19.1	130 × 130	9	12	6	2274	17.9	130 × 130	12	12	8.5	2976	23.4	130 × 130	15	12	8.5	3675	28.8	150 × 150	11	14	7	3200	25.1	150 × 150	15	14	10	4274	33.6	150 × 150	19	14	10	5338	41.9	200 × 200	15	17	12	5775	45.3	200 × 200	20	17	12	7600	59.7	200 × 200	25	17	12	9375	73.6
寸 法 mm				斷 面 積 mm ²	重 量 kg/m																																																																																																																							
A × B	t	r ₁	r ₂																																																																																																																									
80 × 80	6	8.5	4	932.7	7.32																																																																																																																							
80 × 80	9	8.5	6	1359	10.7																																																																																																																							
80 × 80	12	8.5	6	1776	13.9																																																																																																																							
90 × 90	7	10	5	1222	9.59																																																																																																																							
90 × 90	10	10	7	1700	13.3																																																																																																																							
90 × 90	13	10	7	2171	17.0																																																																																																																							
100 × 100	7	10	5	1362	10.7																																																																																																																							
100 × 100	10	10	7	1900	14.9																																																																																																																							
100 × 100	13	10	7	2431	19.1																																																																																																																							
130 × 130	9	12	6	2274	17.9																																																																																																																							
130 × 130	12	12	8.5	2976	23.4																																																																																																																							
130 × 130	15	12	8.5	3675	28.8																																																																																																																							
150 × 150	11	14	7	3200	25.1																																																																																																																							
150 × 150	15	14	10	4274	33.6																																																																																																																							
150 × 150	19	14	10	5338	41.9																																																																																																																							
200 × 200	15	17	12	5775	45.3																																																																																																																							
200 × 200	20	17	12	7600	59.7																																																																																																																							
200 × 200	25	17	12	9375	73.6																																																																																																																							
大正十四年三月二十七日決定		工 業 品 規 格 統 一 調 查 會			昭和五年十二月一日改訂																																																																																																																							

— 29 —

J E S

日 本 標 準 規 格

第 2 6 號

標 準 形 鋼

類 別 G 15

頁 5

不 等 邊 山 形 鋼

寸 法 mm				斷 面 積 mm ²	重 量 kg/m
A × B	t	r ₁	r ₂		
40 × 20 40 × 20	5 3	5 5	2 3.5	174.7 275.1	1.37 2.16
50 × 35 50 × 35	4 6	6.5 6.5	3 4.5	329.2 474.4	2.58 3.72
60 × 50 60 × 50	5 7	6.5 6.5	3 4.5	530.2 721.4	4.16 5.66
65 × 50 65 × 50 65 × 50	5 7 9	6.5 6.5 6.5	3 4.5 4.5	555.2 756.4 954.4	4.36 5.94 7.49
70 × 60 70 × 60 70 × 60	6 8 10	8.5 8.5 8.5	4 6 6	752.7 976.1 1200	5.91 7.66 9.42
75 × 50 75 × 50 75 × 50	6 8 10	8.5 8.5 8.5	4 6 6	722.7 936.1 1150	5.67 7.35 9.03
75 × 65 75 × 65 75 × 65	6 8 10	8.5 8.5 8.5	4 6 6	812.7 1056 1300	6.38 8.29 10.2
80 × 60 80 × 60 80 × 60	6 8 10	8.5 8.5 8.5	4 6 6	812.7 1056 1300	6.38 8.29 10.2
80 × 70 80 × 70 80 × 70	6 9 12	8.5 8.5 8.5	4 6 6	812.7 1269 1656	6.85 9.96 13.0
90 × 60 90 × 60 90 × 60	6 9 12	8.5 8.5 8.5	4 6 6	872.7 1269 1656	6.85 9.96 13.0

大正十四年三月二十七日決定

工 業 品 規 格 統 一 調 査 會

昭和五年十二月一日改訂

會 務

家具工藝展審査會 11月1日三越に於て開催の第2回新しい家具工藝展覽會開催につき同會の委嘱により本會から村野藤吾氏、岡田孝男氏を審査委員に推薦、優良品の審査をした。

主 記 會 2日於朝日ビル於定例會を開き理事會提案事項其の他を議した。

住宅委員會 2日2時於朝日ビル定例會開催 府農務課から門脇惠美枝技官出席、同課依頼に係る農村住居改善問題につき協議した。

教育委員會 2日於朝日ビル竹中工務店別室 鋼構造講習會につき高橋、小泉、小西、三講師及大和理事出席具體案協議した。越えて7日朝日ビルにて2時—7時迄同上4名會合、最後打合會をした。

常任理事會 4日於分室 理事會提案事項支部問題其の他を議した。

兵庫支部幹事會 5日10時から1時於支部事務所、神戸大學、工業組合。早良、山内、伴幹事、大和理事會合、講演會、見學其の他協議した。

理 事 會 8日於朝日ビル 竹腰會長外、名、定例會開催下記議事報告をした。定款一部變更の件。建材審査委員會に關する件。評議員會開催の件。會員名簿調製の件。支部に關する件。會員募集の件。學會長と會合の件。入札制度問題の件。建設業審議委員の件。會員證銜、諸報告16件。

日本板ガラス仁川寮、三和逆瀬川寮見學會 豫告の通り兵庫支部と共催で12日雨中決行した。氣遣れた雨天にも不拘會する者 108名仁川寮集合、日本板ガラス久保事務のガラス界の近況と本寮について説明と挨拶があり、日本建築産業藤原技師より設計について特にアームバランスの解説があつて施工錢高組の案内で見學、同社よりガラスケースを各人記念に配布され茶菓の接待を受け第二コースに向つた。3時、三和寮クラブハウスに到着、三和本店建築課加藤技師から同寮の大意につき、又須賀工業大路技師より弗素淨化施設につき説明後尾崎倉藍の見學注意あり、銀行側、施工鴻池組、須賀工業各係の案内で三班に分れ、延建坪2千と云う膨大な獨身室、家族室、大集會室、浴室、炊事場等見學した。特に弗素の淨化設備は熱心な質問もあつた。終つて一同大食堂に集合膳席、三和銀行、鴻池組、錢高組各社から接待のお心盡しの特製菓子、すし、菓物等の接待を受けた、早良幹事兵庫支部代表、大和常務理事大阪會務委員會を代表し夫々謝意を述べ三和銀行より手帖、礼札等記念品を頂き有意義な見學會を閉じた。秋時雨漸く晴れた歩道を家路についたのは4時頃だつた。當日御案内諸準備、御世話になつた日本板ガラス會社、錢高組、日本建設産業、三和銀行、鴻池組、須賀工業の御関係各位に對し紙上を通じ重ねて厚く御禮申上げる。尚兩寮については1月號誌上で紹介する豫定。

京都支部幹事會 16日6時より於支部、本川幹事外、

大和理事列席講習會及洛北見學につき打合會開いた。

綜合建材部會 17日正午於朝日ビル、綜合部門、淺沼組、新、松村、清水、間、鹿島、藤木各組より7名建材部10餘名出席、大和理事會挨拶後兩部門有益な意見の開陳があつた。最後に青木理事閉會の辭を述べ再會を約し2時解散、終つて建材部會を開き3時閉會

建築技士法委員會 17日2時於分室葦中委員外出席、今次國會に提出豫定の土法案並建築基準法案につき検討した。

建築基準法並に建築士法草案説明會

19日2時於建設會館、豫而建設省より本會に諮問を受けている首題2案につき今般建設省住宅局内藤課長、小宮技官、後藤事務官、三氏の西下を得て兩案の説明を聴取し關西側の意見を開陳した。當日は本會役員委員、京阪神關係各位凡40名出席、井上副會長司會の下に7時迄熱心な説明と意見の交換が行はれた。本會にては本月28日迄に意見を極め諮問に應える豫定である

評 議 員 會 21日2時於朝日ビル、定例評議員會開催 鈴木末尾議長以下委任狀出席共合せて44名合法成立議案事項下の通り決議した。定款一部變更の件。支部長を民法上の理事より除く件。役員任期を2年とする件。評議員會に副議長を設ける件。附則一部削除の件

修學院及び曼珠院、詩仙堂見學會

22日京都支部と共催……午前11時、洛北詩仙堂に集合見學後12時曼珠院で中食をなし書院に集合して正員藤原博士より建築につき、京都工藝大學教授、土居次義氏より繪畫につき夫々有益な講演があつた後同寺國寶の八窓庵茶室、襖繪其他見學。門前で記念撮影後修學院に着、此處にて松井京都支部長外京都側の参加を合せて、一行60名、二班に案内されて院内隅なく拜觀した。今更同離宮の景観と、そのよさを云々する言葉もない。いつ拜觀しても何一つ見ても只感歎するの一語につきてゐる。8時半門前に集會、松井支部長より挨拶後解散した。他所では見られない本見學の紅葉と風光はよき土産となつて家族に語られた事と思はれる。

(本見學は内匠寮の指示もあつて申込全員の参加出来なかつた事誌上より深くお詫する次第である) 尚京阪神有志約20名は同夕山端の平八で晚餐會を催し散談後大和理事より、京都支部各位に厚く謝意を表し、松井支部長の協會發展につき一層の協力方を依頼し7時解散した。

鋼構造講習會開催 豫告の本講習會は23日休日2時から6時迄三講師及大和理事會合、既定3ヶ所及各地支部開講の事等萬般の協議を整えた後、下之通り開催した。

兵庫支部 24日1時から6時迄
於 兵庫縣建設工業組合にて 参加者 90名

京都支部 25日1時から6時迄
於 京都商工會議所 参加者 70名

大阪 26日1時—6時迄
於 大阪建設會館 参加者150名

以上各所共豫期以上の盛會を収め得た事を關係各位に謝意を表する。

東海支部役員會 28日1時から同支部に、玉置支部長佐藤、染木兩副支部長外、出席、大和常務理事列席下記事項につき協議した。會員募集、3月號會誌原稿募集及廣告募集、講習會開催、見學會、名簿調製協力支部發展策等

住宅融資法案作成さる

建設、大蔵兩省で検討中の住宅金融公設置法案はこの程成案を得たので通常國會に提出することになった住宅金融公社の資金は50億円で、一戸當り10萬—16萬圓を貸付けるが、個人15,000戸分、組合員13,000戸分事業會社住宅用7,000戸分のうち4,000戸は不燃住宅、計35,000戸を第1回は貸出するが、12坪住宅の建設費全國平均14萬圓となつてゐるので、不足分の3萬圓乃至9萬圓を各自が負擔することになつてゐる。返済期限は5年から10年、月平均1,200圓から1,300圓となり、利息年5分5厘。

公社の本社を東京に置き、大阪、福岡に支社を置く。

故武田博士十三回忌法養施工

本會創立當時から故片岡先生と共に會のためあらゆる方面から協力され、又副會長外種々の重責に就かれていた、故武田先生逝かれて早くも13年の昔となつたのである。此度先生門下の各位が主催の下に去る3日の休日を期して午前10時から京都百万邊、元西園寺公別墅清風莊で其の法養が営まれた。當日は御遺族並に門下生及關係方面約50名參加、いとも清楚にして嚴肅な佛事が取行はれた。本會からは東畑理事及大和常務理事が參列饒香。茲に故人の溫容を偲び追慕の念を新に冥福をお祈する次第である。

正員 木村寛一君の訃

本會理事 木村寛一君事（木村建設株式會社社長）去る十一月廿四日急逝され誠に痛惜に堪えません。（告別式等未定、次號詳記の豫定）取敢えず謹告いたします。

日本建築協會

營業種目

鋼製サツシユ・ドーアー・シャッター
オペレーター・伸縮戸・面格子・建築金物一式
製作及修理工場

日本サツシユ株式會社

舊名 日本サツシユ合資會社大阪出張所

大阪市東區高麗橋二丁目九番地

電話土佐堀④2995・3979番

神戸營業所 神戸市葺合區琴緒町三丁目八番地

電話元町④5445番

建築學會長一行との懇談會

今般日本建築學會四國支部發會式に臨席の途上西下された同會長一行の來阪を機會として、下記之通り本會側との懇談會を去る10日5時から高麗橋兒島邸で開催した。學會側吉田亨二會長、藏田總務理事、森田同會近畿支部長並佐藤書記長各位、本會側竹腰會長、吉田安三郎監事、中野理事、大和常務理事以上8名、兩會長を中心に兩會の提携發展、支部との連携及兩會今後の有方、建築界の展望等歡談、7時散會した。尙12日四國支部發會式當日、本會より祝電を發し將來の發展を祈つた。

日本建築學會發行書籍分頒中

下記各種書籍、本會にて若干部取揃え分頒中故入用の方は本會事務所迄申込み下さい。

最近の建築材料 220圓

建築物の構造計算 20圓、同解説30圓

鐵筋コンクリート構造（計算基礎・同解説）200圓

木構造計算規準・同解説 120圓

構造用教材Ⅰ（一般構造）150

Ⅱ（構造力學・木、鋼構造・鋼筋コンクリート構造）180圓

學會論文集 36號（22年12月）85圓

37號（23年4月）150圓

後記

昭和24年最後の號として本誌を御送りします。本年最後の號を飾るべく、會員各位より未發表建築作品を得多數掲載出来ました事を謝すると共に、掲載面の都合上一部、改訂を加えました事を御諒承下さい。25年1月號よりは新表紙の下、新しい構想企畫をなし、同一層の飛躍と刷新を期すべく、着々準備を進めております。（編集子）

建築と社會

第30輯 第12號

賣價1部60圓（送料共）

昭和24年11月25日印刷・昭和24年12月1日發行

編集發行人 戸川弘

發行所 社團 日本建築協會
法人

大阪市北區中ノ島3ノ3朝日ビル

電話 {土佐堀 ④1836・3631番

{北濱 ②1834 ~ 9番

振替口座大阪39975番

大阪市西區江戶堀上通二丁目

印刷者 井澤英壽

大阪市西區江戶堀上通二丁目

株式會社 大 洋 社

會員名簿發行豫告

名簿の調整發行は各會とも雜事中の雜事とされていますが、本會は戰後一般の便を圖るため逸早く拙速主義で建築便覽として發行しました。しかし當時は紙材の入手難の上、社會情勢も混沌たる中でもあり印刷も京都と云う惡條件で聊か豫期に反した出來榮えでありました。此の度は一般の要望に應えて會員名簿に加えて復興途上にある土建界關係、建材關係の案内欄を設けた純名簿で一層その用途に便する計畫を立てました。

調整内容は概ね下記の要項で發行は明春三月末日を期しております。

尚ほ各會とも名簿は殆んど有料配布ですが、本會は萬難を排し現下の財政難を克服し全會員に無料配布する計畫です。但し包裝、送料、通信代として一部¥40圓内外の負擔を願う事。

就いては本號挿入の私製はがきに所定事項御記入の上折返し御知らせ下さい。尚ほ業者案内欄の申込に格別の御協力と御援助を御願ひ致します。

昭和25年版 日本建築協會會員名簿 發行計畫

(1) 編集内容

定款、支部規程、各役員、委員、幹事、職員名簿。

1 號、2 號正會員、地方會員、准會員、氏名、出身校、勤務先、職名 住所。

建築科設置學校名、建築關係官廳、市、團體名及び部局課長氏名。

(2) 大きさ 體裁等 A5 版、但し6 號又は9 号、版横組、用紙更上紙、約250 頁程度。

(3) 頒布方法 全會員、廣告主に一部に限り無料配布。但し包紙、送料、通信代として一部につき¥40 圓内外を負擔願う。

(4) 賣 價 會員一部以上入用のときは一部につき150 圓、會員外一部200 圓。

(5) 發行期日 昭和廿五年三月末日の豫定。

(6) 案内欄掲載料 見本一小間800 圓の割、原稿と同時に料金拂込みの事。但し原稿は文字のみに願う事。マーク外寫眞凸版は若干の特別頁以外はお断りの事。各業種別、支部別に五十音順とする。申込締切昭和廿五年二月十五日迄一小間につき名簿一部の割で贈呈。

(7) 組見本 (以下全部出來上り寸法と同じ)

〔會員名簿〕

氏 名	出 身 校	勤 務 先	住 所
福田松五郎	東京大學	大阪市役所住宅課	大阪市北區中之島5丁目43電話土佐堀41892

一頁凡そ三十行の豫定

〔建築業者案内〕

店 名	所 在 地	電 話
東洋建設株式會社	本店・東京都中央區銀座西3丁目1 支店、出張所 大阪・名古屋・博多	九段 { 1045 4372 }

〔建築材料、附帶工事關係其の他業者案内〕

店 名	營 業 種 目	所 在 地	電 話
朝日建材株式會社	スレート、瓦、防水 工事、衛生、暖房 責任施工 一般建築材料	本店・大阪市東區北濱3丁目22 支店・神戸市生田區元町 1丁目5	北濱 3151—2 元町 0123—4

但し支店、出張所、取扱品等詳記を御希望は一社につき三小間まで申込まれたし。

以上

會員募集について

本委員会では講演會、見學會等を催し會員相互の親睦を計ると共にその向上に努めて居りますが、一面皆様と共に會勢の發展を期したい念願であります。今般會員名簿調製に伴い會員倍加運動に着手して居ります。

就きましては此の際會員各位御一名につき新入會者一名を本年々末迄に是非御紹介下さるよう御協力御援助方御願ひ致します。

追而、入會金100圓、會費月80圓、但し大阪、和歌山及び各支部に屬せない會費は月64圓の割。

準會員は地域を不問、入會金50圓、會費月50圓の割。

尙2號正會員即ち會社、商店等は入會金不要、會費年額一口につき1,000圓

申 込 所

- (大阪事務所) 大阪中之島朝日ビル内及市内東區天神橋 建設會館内本會事務所
- (和歌山事務所) 和歌山市三木町南之町 島村建築事務所内
- (京都支部) 京都市中京區夷川通河原町東入京都支部(京都、滋賀縣下)
- (兵庫支部) 神戸市生田區榎磨町45 大興ビル1階 竹中工務店神戸支店內(兵庫縣下)
- (東海支部) 名古屋市中原榮町 土木建材協會内(愛知、岐阜、三重縣下)
- (中國支部) 廣州市國泰寺町 土建會館内(山口、廣島、岡山、島根、鳥取縣下)
- (九州支部) 福岡市渡邊通六丁目 建設會館内(九州一円)

建材審査委員會設置の件

(需めに應じて一般資材の審査を始めました)

建材の審査については本會多年懸案中のものでありましたが、今般之を實施する事として下記規程に基き新設の建材審査委員會が實行に着手する事となりました。復興途上に於ける建材並に斯界の向上發達のため大方の御支援を賜りたいと存じます。

尙は優良品に對しては希望により本會に於て優良證明書を發行します。關係各位は廣く御宣傳の上受審申込の斡旋につとめられ、本目的達成に協力されん事を御願ひします。

(規程、申込書御入用の時は本會事務局へ御知らせを乞う。)

建 材 審 査 委 員 會 規 程

1. 本委員會は一般建築資材の調査、研究、試験等をなし審査の結果良否を認定し以て斯界の向上發達を圖ることを目的とする。
2. 本審査を受けようとする者は一件毎に所定の申込書に別に定める審査會費を添へ現品其の他本會が指定する資料を提出する。
3. 審査の方法は依頼者より説明を聴取し調査、研究又は必要に應じた試験分析等をする。
4. 本委員會の意見は全委員3分の2以上を以て決する。
5. 審査の結果、優良品に對しては一件毎に別に定める調査費用を申し受け優良證明書を發行する。其の他のものに對しては意見を附けて申込書に通知する。
6. 優良證明書を發行した場合は建築と社會に掲載する外諸官廳、設計關係者に周知につとめ尙ほ適當の方法で宣傳する。
7. 優良證明書に對する責任は審査委員會に提出された現品について負うものである。
8. 優良證明書は發行日より一ケ年有効とする。
9. 本證明書を不正に利用された實情判明した時は直に取消の通知を發すると共に一般に公表する。
10. 既納の會費其の他は如何なる場合でも返戻しない。
11. 本規程の改廢は理事會で定める。
12. 本規程は昭和24年10月1日より實施する。

以 上

●第三〇集 第二二号 掲載広告一覽（掲載順）

協和製作所

ケントク

佐伯建設工業

やよいスレート

日東工務店

太平建築相談所

久保田工務店

近畿電気工事

大阪電気商会

大阪暖房商会

大阪城口研究所

桐田商会

斎藤久孝

須賀工業

西原衛生工業所

建材社

大和工業

三晃商会

保坂工業所

朝日設備工業

辰己吉商店

山源商店

満点製作所

日本消防機具

日新工業

日本セメント防水剤製造所

日本断熱工業

報国工業

鼎直一商店

関城化学工業所

内外アスベスト

明正社

大阪パッキング製造所

内外土木建材社

三高製作所

日建鋼業

中川ラス製作所

円満庄次郎商店

ライトラバー興業

水島商店

天王寺木工

浪花工房

利倉幸商店

鈴木工務所

山本窯業

木下謹三商店

興和建材工業所

三幸商会

石田建材店

産業スレート

神治屋本店

江昌工業所

ナニワ瓦

金剛商会

芦屋左官工業所

兵庫県瓦工事

桑田硝子

朝日スレート

山本建材社